



2024 RESPONSIBILITY REPORT





このレポートについて

私たちは、2024年度のレスポンシビリティレポートを発表できることを嬉しく思います。

この報告書では、環境および社会への取り組みについて網羅しています。

この包括的な報告書は、2025年ターゲットリポートで概説した目標の進捗状況を毎年更新しています。

報告期間は2024年1月1日から12月31日です。

以下のページでは、当社の歴史、チーム、そしてWE CAREレスポンシビリティ戦略についてご紹介します。2022年、2023年、そして2024年の年次比較データも、入手可能な場合は公開しています。透明性へのコミットメントを示すため、進展状況であれ後退状況であれ、これらの進捗状況を具体的に示しています。このオープンな姿勢を通して、私たちは成功を祝い、これまで直面してきた課題に共に立ち向かうことができると信じています。

→ [2025 Target Report](#)

このレポートに関するお問い合わせ：

→ responsibility@mammut.com



CONTENTS

このレポートについて	2	素材開発:ドリームシリーズ	46	リサイクルポリエステル	81
CEOからの手紙	4	修理	47	リサイクルナイロン	83
マムートについて	5	製品のお手入れ	48	クライミングギア	85
歴史	7	マムート ループインサレーション	50	マイクロファイバー	86
2024年度の実績	9	余剰材料と売れ残った商品	51	オーガニックコットン	87
企業展開	10	アニマルウェルフェア	52	生物多様性	89
レスポンシビリティ	12	ダウン&ウール	53	輸送と貨物	90
レスポンシビリティジャーニー	14	レザー	54	物流と輸送における排出量	91
レスポンシビリティガバナンス	16	環境負荷の低減	55	梱包	92
責任ある企業行動	18	気候変動対策	56	社内オペレーション	93
影響とアプローチ	19	最善を尽くし、残りは除去する	57	エシカルな労働環境	94
目標と進捗状況の概要	20	目標とScope	58	状況に応じた生産	95
WE CARE	22	Scope 1~3	59	フェアウェア財団	97
WEとは	25	カーボンフットプリント	60	デューデリジェンス アプローチ	100
チーム	26	Scope 1、Scope 2におけるCO2削減	61	Bangladeshでのデューデリジェンス	102
コミュニティ・エンゲージメント	31	Scope 3におけるCO2削減	62	HIGG施設の社会・労働モジュール(FSLM)	103
会員組織とパートナー	34	残りを除去する:炭素除去	64	ハードグッズ監査アライアンス	104
主要パートナー	36	炭素除去パートナー	67	労働者の福利厚生	105
購買慣行	37	具体的な活動	68	縫製品の国別調達状況	107
購買配分	38	材料の重量と排出量	70	縫製品の国別レポート	108
サプライヤー戦略	40	化学物質の管理	72	参考資料	115
サプライヤーエンゲージメント	41	bluesign®	73	重要性の評価	116
パフォーマンス評価	42	HIGG施設環境モジュールFEM	75	補足情報	118
循環型社会とサービス	43	PFASフリー	77	用語集	120
品質と耐久性	45	ソリューションダイ	80		

CEOからの手紙

2024年度のレスポンスビリティレポートを発表するにあたり、私は大きな達成感と、未来への慎重ながらも前向きな期待を感じています。1862年の創業以来、マムートは高品質で耐久性のある製品の開発に尽力してきましたが、2024年には様々な分野で大きな進歩を遂げました。

今年の注目すべきイノベーションは、産業用ロープ製造時に発生する廃材を活用した断熱技術「Mammut LOOPSINSULATION」の導入でした。B2Bパートナーと消費者の両方から好意的なフィードバックをいただき、循環型社会に向けた重要な一歩を踏み出すことができました。

カーボンインテンシティは前年とほぼ同じで、わずか0.3%の減少にとどまりました。取り組みを重ねているものの、2024年のカーボンフットプリントは2023年と比べて6.5%増加しています。成長とCO2排出の切り離しは依然として大きな課題です。私たちはこの課題に継続的に取り組み、決して努力を緩めることはありません。

スイスのコーポレート・レスポンスビリティチームは、グローバル・エクステンジ・プログラムを通じて米国の社員を受け入れ、Scope 2の排出量への対応と、米国子会社における電力源の把握に取り組みました。チームは再生可能エネルギー証書（REC）について調査を行い、再生可能電力への移行に向けた具体的なステップを策定しました。

さらに、私たちは伝説的なクライマーであるアダム・オンドラの後押しのもと、「CopenHillイニシアチブ」を通じて、2025年までに90トンのCO2を脱炭素化することを誓いました。

責任あるガバナンスの強化に向けた取り組みの一環として、当社はカーボンインテンシティの実績に連動した業績インセンティブを、一定の条件を満たす全従業員およびゼネラルマネジメントメンバーに導入しました。これにより、長期的な視点での責任ある意思決定を促進しています。

「私たちは大きな進歩を遂げましたが、達成すべきことはまだ多く残っています。」



私たちの取り組みは公に認められ、持続可能な取り組みにおけるリーダーシップが認められ、2024年ドイツ・サステナビリティ賞を受賞しました。さらに、Good on Youによるサステナビリティ評価が「Good」に向上しました。

倫理的かつ持続可能な実践の継続的な強化を反映しています。

マムートコミュニティ全体による共同の努力と貢献の証です。これらは、アウトドア業界においてより責任ある存在となるための私たちの歩みと、その中で成し遂げた前進を反映しています。ここまで大きな進歩を遂げましたが、まだやるべきことはたくさんあります。

Rise with the mountain,

Heiko Schäfer
Chief Executive Officer
Mammut Sports Group AG

01

マムートについて





1862年創業 ▲ スイスを代表する マウンテンブランド

私たちは、可能な限り責任ある方法で、最高品質のマウンテンアパレルと装備を生み出しています。

160年以上前の創業以来、Mammutは山岳における安全と保護の分野で世界的なリーダーであり続けています。頭からつま先までをカバーする製品ラインナップは、創意工夫に富んだデザインとアスリートによるテストを経ており、山への情熱を体現するとともに、品質と耐久性の新たな基準を打ち立てています。





HISTORY

ROPE FACTORY

DINTIKON

1862

当社の創設者であるカスパー・タナー氏(右端)と彼のチーム
1862年にスイスのディンティコンに設立された最初のロープ工場の前で。



当社のルーツは、1862年にロープ製造業者のカスパー・タナーがスイスのディンティコンで開業した小さな家族経営の会社に遡ります。ロープは主に農業用に生産されていました。

1862



80年後、第二次世界大戦を経て、社名をマムートに変更。生産の中心は登山用ロープとセーリング用ロープへと移りました。1950年代には、ナイロン糸で作られた初の氷河用ロープを発売し、アルパインにおける安全性の画期的な出来事となりました。

1952



スイス陸軍向けのBarryvox® VS 68の開発は、雪崩安全のためのツール開発への私たちの旅の始まりでした。このトランシーバーは、雪崩に巻き込まれた際の救助の可能性を大幅に向上させ、その後、エアバッグ、グローブ、シャベルへと発展しました。

1969

1981

ハードウェア、アパレル、フットウェアも開発され、マウンテンスポーツ用具に対する総合的なアプローチを確立しました。



1995



アイガーエクストリームコレクションは、高峰登山のために発売されました。マムートアスリートたちは優れた登山のニーズに応えるために、開発プロセスに深く関わっています。また、当社初のリサイクルPETフリースも発売されました。

2003

2003年、社名を現在のマムート・スポーツ・グループAGに変更しました。2000年代初頭には、ソルウェーの寝袋メーカーのアユンギラックと登山靴専門メーカーのライケルも買収しました。



当社は、気候戦略の策定や資材および労働条件の改善など、環境および社会に対する責任に対する取り組みを2006年に大幅に強化します。

2006

マムートは、2022年に創業160周年を迎えました。



2022

2024

2024年度の実績

+14,900



弊社の製品ケアチームおよび第三者による修理

90^t のCO₂ 排出量



コペンヒルイニシアチブを通じて2025年までに脱炭素化を目指します

Mammut
loopinsulation

マムート ループインシュレーション
リリース

16年



フェアウェア財団の
メンバーとして16年

Good On Youによる評価が
「Good」に上昇しました



対象となるすべての従業員と
GMメンバーを対象とした、炭
素強度あにに応じたパフォー
マンスインセンティブ

100%



PFASフリー
寝袋とハーネス

13年



bluesign® SYSTEM PARTNER と
して13年間認定

バングラデシュの雇用傷害
制度パイロット (EISパイ
ロット) に参加



リペア&ケアハブ
開設



ドイツサステナビリ
ティ賞受賞



グローバル・エクステンジ・プログ
ラムにおいて、北米子会社の電力源の
マッピングを完了

企業展開



実績と数	
<p>51</p> <p>活発な流通網を持つ51の国々で、アウトドアアパレル、ハードウェア、フットウェアのフルラインナップを提供しています</p>	<p>69</p> <p>69のmammutブランド、フランチャイズ、アウトレットストアを世界中で展開</p>
<p>5.27M</p> <p>2024年に生産された製品は527万点</p>	<p>900</p> <p>9か国での従業員</p>



WE INSPIRE LOVE FOR MOUNTAINS.

山を体験できる幸運に恵まれたすべての人にとって、山は単なる自然現象ではなく、強さ、美しさ、冒険、そして挑戦の象徴です。山は私たちの最高の憧れであり、私たちの能力を試す究極の試練です。山は人々に探求心と困難を乗り越える意欲を与え、それを通して個人の成長と自己発見を促します。そして、自然とその力に対する畏敬の念を呼び起こします。

私たちの事業は、単なる山岳スポーツ用品の提供にとどまりません。We exist to inspire love for mountains.

山を愛するコミュニティとして、私たちは情熱、製品、そして専門知識を共有し、人々が安全かつ責任を持って山を楽しむことができるよう支援したいと考えています。山に関連する環境問題や社会問題、そして山の保全と保護にどのように貢献できるかについて、消費者の皆様へ啓発活動を行うことで、人々の生活を豊かにし、世界に良い影響を与えることができると信じています。





02

レスポンスビルリティ*

レスポンシビリティ



We exist to inspire love for mountains.

人類と地球の将来の繁栄のために積極的に取り組むグローバルブランドの構築に取り組んでいます。

当社のコーポレート・レスポンシビリティへの取り組みは、2015年に国連総会で定められた2030年までの持続可能な開発目標に沿っています。組織の特性上、私たちは特に、健康と福祉、安全な水と衛生、働きがいと経済成長、責任ある消費と生産、気候変動対策、そして目標達成のためのパートナーシップという、以下の国連目標とその実施に重点を置いています。

私たちは事業活動において、ネットゼロエミッションを目指してカーボンフットプリントの削減、倫理的なサプライチェーンの構築、そして労働者の公正な労働条件の確保に積極的に取り組んでいます。製品へのこだわりは、高品質な素材と責任ある生産プロセスを採用することで実現しています。

耐久性があり、修理できるように設計されており、ますます循環型になっているサプライチェーンに組み込むことができるアウトドア用品です。

当社のレスポンシビリティ戦略は、ブランド戦略全体に丸ごと組み込まれており、短期および長期の意思決定に役立っています。製品に説明責任と透明性を組み込む取り組みの一環として、WE CAREフレームワークを構築しました。このフレームワークでは、2025年までの目標を定めたベストプラクティス・アプローチが定義されています。私たちは常に進捗状況を追跡し、プロセスと行動を評価して改善の機会を探っています。

レスポンシビリティはチームの努力であり、そのため当社はサプライヤー、小売業者、そしてより広範な利害関係者と共に働き、学ぶことを目指しています。

→ [Responsibility Reporting](#)





レスポンスビリティ ジャーニー Ⅲ

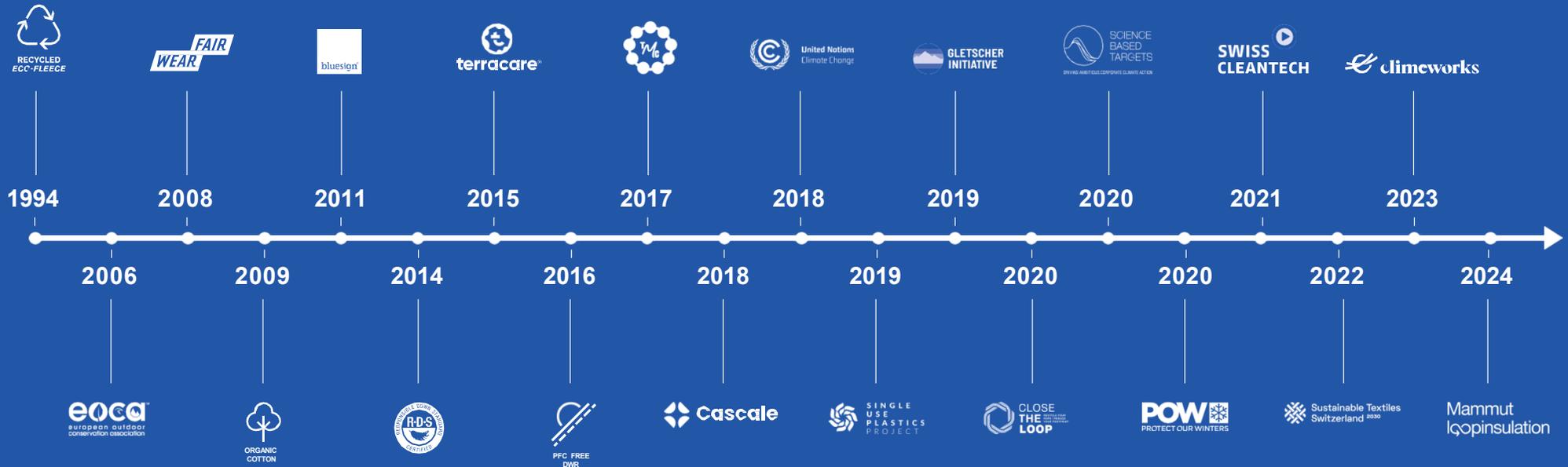
1862年の創業以来、山岳地帯の景観は劇的に変化しており、責任ある事業活動を通じて気候危機への対応は、私たちの最優先事項です。

環境と社会への責任は、2006年に初めて戦略的事業計画に盛り込まれましたが、リサイクルポリエステルなど、より持続可能な素材の使用に向けて、1994年には既に対策を講じていました。

近年では、業界の専門家や、Fair Wear Foundation、bluesign®、The Higg Indexといった外部監視システムやパートナーとの連携を通じて、国際的なサプライチェーンにおける責任ある取り組みの課題に取り組んでいます。2018年には、国連の「ファッション業界気候行動憲章」の主要署名者として、気候危機を戦略的計画の最優先事項に位置付けています。業界との連携や認証取得に加え、2023年にはClimeworksと提携し、炭素除去も導入しました。2024年には、ロープの端材を再利用した、合成断熱材「Mammut LOOPINSULATION」をローンチしました。



レスポンスビリティ ジャーニー





レスポンシビリティ ガバナンス XXX XXX XXX

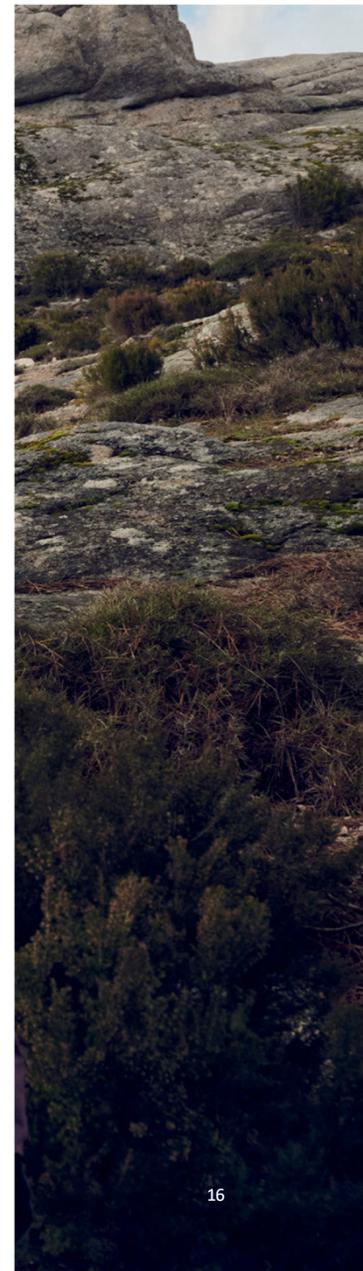
当社にはコーポレート・レスポンシビリティに関する選任のチームがあります。5名の専任従業員で構成されるこのチームは、組織のサステナビリティ・イニシアチブの実施と調整を支援します。企業責任責任者は、拡大経営チームの一員です。

当社のコーポレート・レスポンシビリティチームはCSCOに報告しています

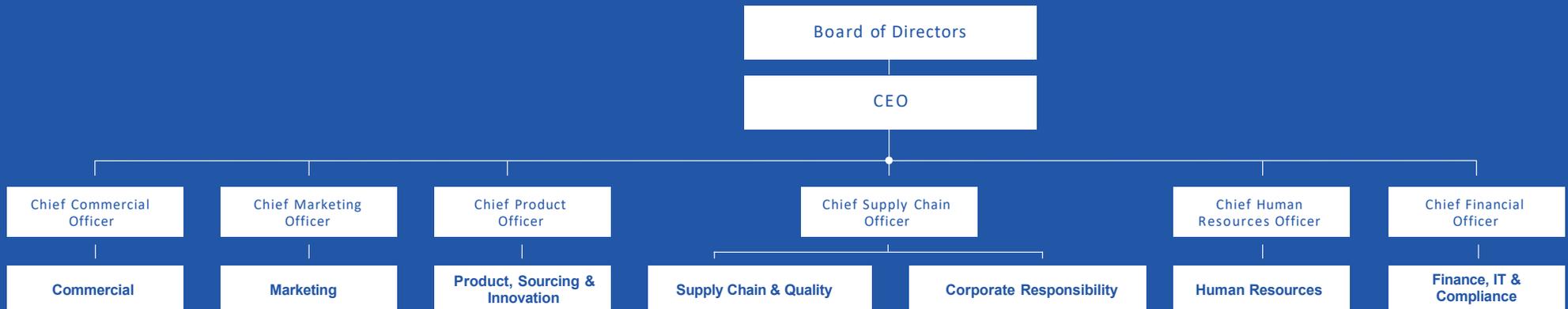
2022年以降、コーポレート・レスポンシビリティチームはサプライチェーン部門の一部となり、最高サプライチェーン責任者（CSCO）のミヒャエル・ランメルズベルガーに報告しています。チームは組織全体のチームメンバーと連携し、取締役会、経営幹部、そして製品開発部門において、環境および社会問題への高い意識を維持しています。

企業責任は協働的なコミットメントです。コーポレート・レスポンシビリティを果たすには、すべての従業員が当社の戦略を日々の業務に反映させるというコミットメントが必要です。2024年以降、対象となるすべての従業員と経営幹部の業績インセンティブは、炭素強度パフォーマンスと連動しており、組織全体における長期的な責任ある意思決定を促進することを目指しています。

[炭素強度パフォーマンスインセンティブについて詳しくはこちら](#)



レスポンスビリティ ガバナンス



責任ある企業行動



2023年、当社は責任ある企業行動（RBC）をポリシー文書で定義しました。

当社のRBCは、製品が販売されている国々における現行および予想されるサプライチェーン法を遵守するように設計されています。ポリシーの策定にあたり、経済協力開発機構（OECD）が提供する「衣料品・履物セクターにおける責任あるサプライチェーンのためのデューデリジェンスガイダンス」に準拠しました。

このガイダンスは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）および国際労働機関（ILO）の条約を参照しています。このポリシーは、マムート自身の事業運営に関する要件とサプライヤーに関する要件の2つのセクションで構成されています。マムート自身の事業運営に関する要件は、以下の点に焦点を当てています。

- ・ 人権
- ・ デューデリジェンス
- ・ 汚職防止
- ・ 内部告発
- ・ 貿易ボイコット
- ・ アニマルウェルフェア
- ・ 化学物質の管理
- ・ 環境
- ・ フェアウェア労働規範
- ・ 責任ある購買慣行

2024年には、マムートと取引を行うすべてのサプライヤーが署名を義務付けられている労働慣行規範と規制物質リストに基づき、行動規範を改訂しました。現在、新しい行動規範をサプライヤーのオンボーディングプロセスに統合する作業を進めています。

→ [責任ある企業行動方針](#)

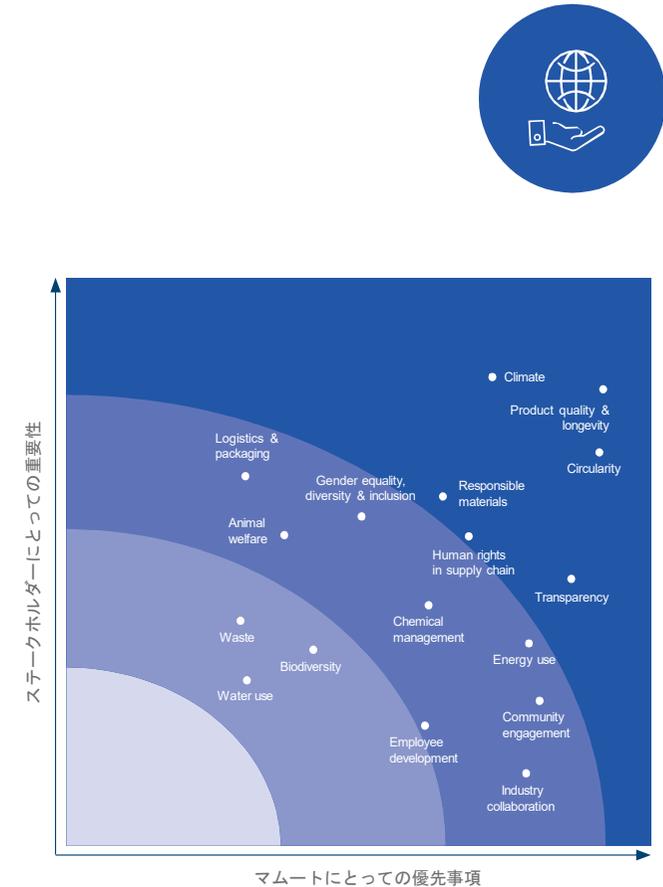
影響とアプローチ

私たちの事業活動は、社会と環境に影響を与えます。スポーツ用品業界における原材料、生産、物流の影響は、評価が非常に困難になる場合があります。そのため、私たちは、多様なステークホルダーの視点から優先事項を明確化するために、マテリアリティ・マトリックスを作成しました。

このマテリアリティ・マトリックスでは、各トピックを、ブランドとしての優先度とステークホルダーにとっての重要性に基づいて評価しています。私たちは、以下の3つの主要なレバーを特定しました。

- ・ サプライチェーンの脱炭素化（生産工程における再生可能エネルギーへの移行を意味します）。
- ・ より責任ある素材の選択（環境負荷の少ない素材の採用とより効率的な生産プロセスの採用を意味します）。
- ・ より循環型のビジネスモデルの探求（製品の品質と寿命の延長に注力するとともに、修理の拡大と循環型プロジェクトの探求を意味します）。

とはいえ、記載されている項目はすべて関連性があり、どれも無視されるべきではありません。サステナビリティの課題は相互に依存しており、ある分野の改善が他の分野にプラスの影響を与えることがよくあります。このアプローチは私たちの最善の判断に基づくものであり、現在、新たな知見、今後の政府の介入、最新の科学研究、そしてお客様やサプライヤーからのフィードバックを反映させるため、近日施行予定の企業サステナビリティ報告指令（CSRD）を踏まえて再評価中です。2025年末までに、私たちは二重のマテリアリティ評価を実施し、インパクト・マテリアリティに財務的マテリアリティを加算します。これは2025年版の責任報告書に掲載されます。



年間目標と進捗状況の概要

2030年までの年間目標	メトリック	ベースライン 2018年	目標 2030年	2023年	2024年	2024 vs. 2023	SS 2024 vs. ベースライン	2024年と 2023年の 実績比較
スコープ1および2の排出量を、基準年である2018年と比較して2030年までに80%削減します。	CO ₂ 換算削減率	2,443	488	1,025	984	- 41	- 1,459	∧
2018年を基準年として、2030年までにスコープ3排出量を55%削減する	CO ₂ 換算削減率	55,331	24,899	42,937	45,828	+ 2,891	- 9,503	∨
2030年までにフェアウェアリーダーの地位を獲得	フェアウェア認証	Good	Leader	Good	Good	No change	n/a	＝

∧ 目標に向けてパフォーマンスが向上
 ∨ 目標からパフォーマンスが低下
 ＝ 昨年から変更なし

シーズンごとのアパレル目標と進捗状況の概要

2025/2026FW までの シーズン目標	メトリック	ベースライン SS 2020	目標 2025	SS 2023	SS 2024	SS 2024 vs. SS 2023	SS 2024 vs. ベースライン	実績 2024
90% bluesign® 製品	bluesign® 製品の割合	39%	90%	62%	69%	+ 7 p.p.	30 p.p.	∧
100%PFASフリー	PFASフリー の割合	58%	100%	85%	94%	9 p.p.	36 p.p.	∧
リサイクルポリ エステル95%*	リサイクルポリ エステルの割合 *	15%	95%	48%	62%	14 p.p.	47 p.p.	∧
30%リサイクル ナイロン**	リサイクルナイ ロンの割合**	2%	30%	6%	11%	5 p.p.	9 p.p.	∧
100%オーガニック コットン	オーガニック コットンの割合	58%	100%	89%	88%	-1 p.p.	30 p.p.	∨
バージンダウン 100% RDS	RDS ダウン の割合	100%	100%	100%	100%	0 p.p.	0 p.p.	🎯
バージンウール 100% RWS	RWSウール の割合	0%	100%	100%	100%	0 p.p.	100 p.p.	🎯



昨シーズンからパフォーマンスが向上



昨シーズンからパフォーマンスが低下



目標レベル達成

p.p.は「パーセンテージポイント」を示します

*少なくとも75%がポリエステルで、繊維の少なくとも半分がリサイクルされた素材の割合

**少なくとも75%がポリアミドで、繊維の少なくとも半分がリサイクルされた材料の割合

03

WE CARE 🌲





WE CARE

2018年に策定されたWE CAREフレームワークは、最高品質の高性能マウンテングアを継続的に開発し、社会・環境目標の達成を確実にするために構築されました。5つのパートに分かれたWE CARE戦略は、地域社会とパートナー（WE）、循環型社会とサービス、動物福祉、環境負荷の低減、倫理的な生産を通して、私たちの責任を担っています。

WE CAREの構造とそれに伴うコミュニケーションは、進化する私たちのアプローチをより適切に反映するために継続的に更新されています。2024年の更新がないため、今年のレポートではレンタルに関する章を削除しました。

WE CAREでは、2018年から2023年の間に開発され、2020年夏から2025年の間に市場に投入される製品について、設計開発チーム向けに5年間の責任目標と主要業績評価指標が設定されました。2025年以降の目標は、改訂されたWE CARE 2.0戦略の中で策定されています。2023年のレスポンシビリティレポートでは、次のレポートで新しい戦略を公開すると約束していましたが、WE CARE 2.0戦略の更新が遅れているため、2025年のレスポンシビリティレポートに含める予定です。





WE

WEとは

- チーム
- コミュニティエンゲージメント
- 会員とパートナー
- サプライヤー戦略



C

循環性とサービス

- 循環性
- 品質
- 修理
- LOOPINSULATION



A

アニマルウェルフェア

- ダウン
- ウール
- レザー



R

影響の軽減

- 気候戦略
- 原材料
- 化学物質管理
- 輸送・貨物輸送



E

エシカルな生産

- フェアウェア財団
- デューデリジェンス
- 国別報告



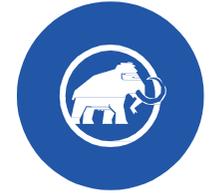
WE とは

共に歩むことで、私たちはより強くなります。業界との連携、サプライヤーとの関係、そして外部パートナーや会員組織へのコミットメントを誇りに思います。これらは、アパレルおよびギア製造における新たな現状を確立する上で、私たちの貢献の源となっています。

Cascale、European Outdoor Group (EOG)、そしてTier 1サプライヤー戦略といったパートナーシップやイニシアチブを通じて、業界の知見を共有し、共に目標達成を目指しています。Fair Wear Foundationやbluesign®といったリーダー企業が提供するツールやシステムを活用することで、常に時代の先を行くとともに、同業他社と共にコンプライアンスとアカウンタビリティのシステムを構築しています。大学とのパートナーシップや社内チームメンバーへの継続的なトレーニング支援を通して、私たちは、それぞれの夢を追い求め、可能性に挑戦する人々の声に耳を傾け、学ぶことを目指しています。



チーム



マムートの中心にあるのは人です。私たちは、チームが最高の仕事をし、革新と創意工夫を推進することで、環境と社会への影響に対処できるよう、できる限りのサポートを行っています。

従業員エンゲージメント

2023年10月、私たちは新たな経営体制のもとで、従業員の意識や懸念を把握するための新しいグローバル従業員エンゲージメント調査を開始しました。この調査では、仕事の満足度、チームワーク、リーダーシップ、労働環境、そして企業文化について幅広く取り上げています。店舗スタッフや物流スタッフを含む全世界の従業員が参加対象となりました。

2024年にはこの調査を2回実施し、5月の参加率は72%、10月は73%でした。これは2023年と同水準でしたが、2024年の目標としていた参加率80%には7%届きませんでした。昨年の報告書では、年間3~4回の実施を予定していると発表しましたが、従業員の意識はそこまで急激に変化しないことが分かってきました。

四半期ごとの調査を実施する正当な理由はないと判断しました。また、調査疲れを避け、参加率の高さを維持することも重要だと考えています。

すべてのチームリーダーは、自チームの調査結果をリアルタイムで確認でき、職場環境を維持・改善するための具体的な推奨事項もあわせて提示されます。調査結果のうち、最も評価の高い項目と低い項目は大きく変化することなく、わずかな変動にとどまりました。

2024年10月の調査において最も評価が高かった項目は以下のとおりです：

「Mammutでは、性別、出自、宗教などの特性にかかわらず、すべての人が平等に扱われている」：79%が同意

「直属の上司との協力が満足している」：78%

「同僚との協働が好きである」：78%

一方、評価が低かった項目は以下のとおりです：

「部門や拠点を越えて効果的に協力できている」：59%

「Mammutでの昇進の機会に満足している」：56%

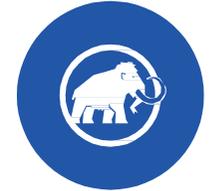
「マムートでの研修機会に満足しています」：61%

でした。

私たちは、タレントプログラムなどの取り組みを通じて、これら評価の低かった項目の改善を目指しています。

従業員特典

- 最大50%の柔軟なリモートワークが可能
- 年間最大3日間の能力開発研修
- EU/EFTA加盟国からの海外リモートワーク（最大20日間）
- 無料の語学クラス
- 100以上のコースを備えたeラーニングプラットフォームへの無料アクセス
- 本社での無料フィットネスクラスおよびスイス全土の提携クライミングジムの利用
- マムートなどのスポーツブランド製品の割引
- スイス在住のすべての親（養子縁組を含む）に対して、追加で4週間の育児休暇
- ドイツ在住従業員の自転車購入に対する経済的支援
- スイスおよびドイツの一部スキー場リフト券の割引



従業員育成

2024年には、エキスパート・スポンサーシップとグローバル・エクステンジ・プログラムという2つの新しい人材育成プログラムを開始しました。エキスパート・スポンサーシップは、各分野の専門家が知識を深め、専門分野以外で幅広い経験を積み、専門分野におけるネットワークを構築するためのものです。グローバル・エクステンジ・プログラムは、従業員が海外のマムート・オフィスからプロジェクトに携わることを可能にし、国や部門間の連携を促進することを目的としています。また、2024年には「Build Your Own Career Initiative（自分自身のキャリアを築くイニシアチブ）」も開始しました。このプログラムには、スキル評価と開発に関連する3ヶ月間のボランティア活動が含まれており、ワークショップ、パネルディスカッション、ネットワーキングイベントなどが含まれます。

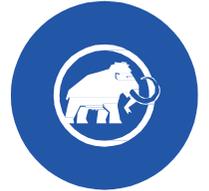
これらの導入に加え、新人および経験豊富なリーダーを対象とした人材育成プログラムの第4期生と、第2期リーダーシップ育成イニシアチブを実施しました。全従業員は、個別の育成機会に応募できます。

さらに、語学研修、オンライン語学コース、ソフトスキルeラーニングプロバイダーへの無制限アクセスもご利用いただけます。

男女平等

私たちは、機会均等な職場環境の実現に取り組んでいます。2024年には、タレント育成プログラムの参加者の85%、エキスパート・スポンサーシップの参加者の75%、グローバル・エクステンジ・プログラムの参加者の33%が女性です。

国際女性デーに、タイガー・オブ・スウェーデンの元CEO、リンダ・ダウリス氏をお招きし、当社の最高人事責任者であるウルスラ・オルマイヤー氏、そして戦略・変革責任者であるキャロライン・チャベス氏とのパネルディスカッションを開催しました。パネルディスカッションの後には、全女性社員を対象とした任意のワークショップが開催されました。



未来の人材

私たちは、実習制度とインターンシップを通じて、アウトドア業界を支える次世代の革新的な人材の育成に努めています。2024年には、世界中で7名の実習生と21名のインターンシップ生を受け入れました。

マムートスピリットデー

従業員がサステナビリティに焦点を当てたチームビルディング活動に参加する、グローバル規模のマムートスピリットデーの第2回を開催しました。各地域チームは、岩場の清掃、植樹、ゴミ拾い、古代遺跡の修復など、それぞれ独自の活動内容を決めました。

行動の文化

2023年、私たちは日々のやり取り、プロジェクト、そして戦略的意思決定すべてに適用される「行動の文化」という企業ガイドラインを策定しました。2024年には、チームが前年に策定した項目をレビュー、評価、刷新するための「行動の文化週間」を開催しました。

内部告発

従業員とすべての社外パートナーが、懸念事項や苦情を効果的かつ合法的に、報復を恐れることなく伝えられるよう、従業員とすべての社外パートナーが社内外に問題を報告できる複数のパイプラインを設けています。このシステムでは、報告者が希望する場合、匿名性を維持することができます。報告は、マムートの法律顧問に直接送信するか、マムートの内部告発システム「インテグリティライン」を通じて匿名で提出することができます。その他の申し立ては、法律事務所 Blesi & Papaに提出できます。

マムートの法律顧問

→ legal@mammut.com

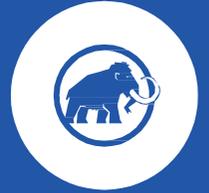
Phone: +41 (0)62 769 83 50

匿名の投稿

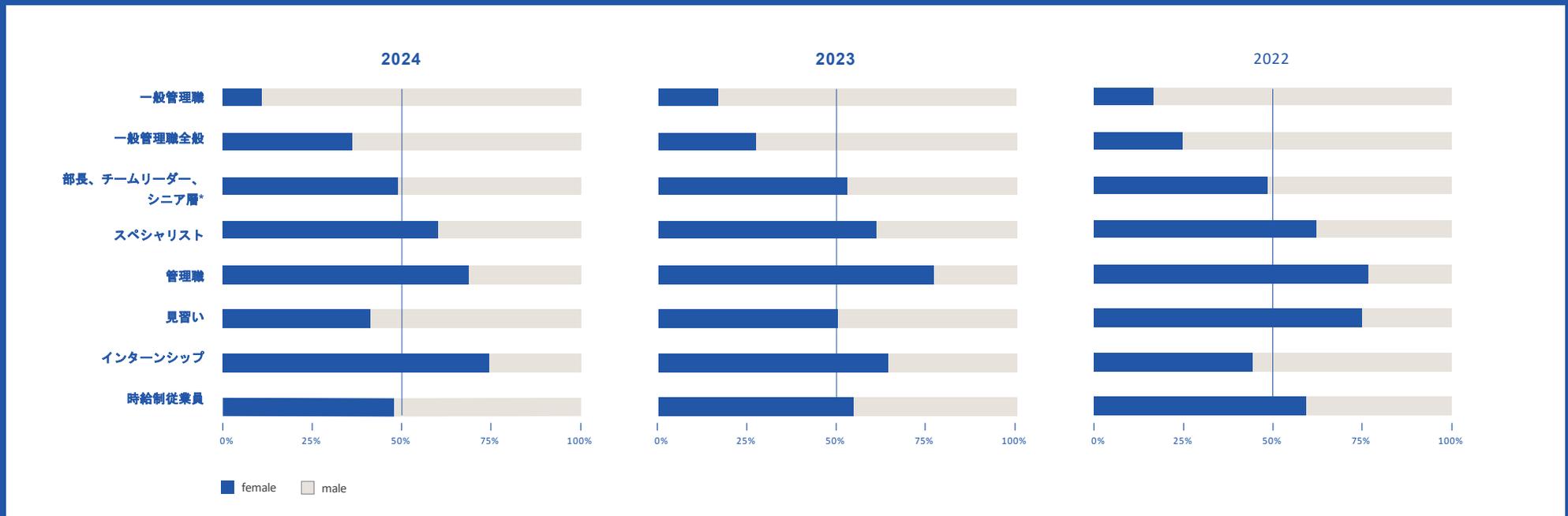
→ [Integrityline](https://integrityline.com)

追加の請求

→ whistleblowing@blesi-papa.ch



スイスにおける男女比

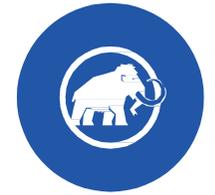


*注: このレポートの以前のバージョンでは、このカテゴリに「シニア」は含まれていませんでしたが、印刷された数値には常にシニアレベルの従業員が含まれていました。

“山は、人々に探求し、困難を乗り越え、
成長することを促します。
そして、自然の力に対する敬意と畏敬の
念を呼び起こします。”



コミュニティ・エンゲージメント



私たちは、山には人生を変え、人々を結びつけ、私生活やビジネスにおいてより大きな責任感を育む力があると強く信じています。

私たちの献身的な非営利団体パートナーは、社会的に疎外され、歴史的に排除されてきた人々に山岳スポーツの喜びをより身近なものにし、環境保護活動に貢献し、効果的な気候政策の実現に向けた政治的関与を促進しています。

すべての寄付と支援の金銭的価値は付録に記載されています。 →

ClimbAID (クライムエイド)

ClimbAIDは、戦争や貧困の影響を受けたコミュニティに、クライミングの楽しさと恩恵を届けている非営利団体です。レバノン、ギリシャ、スイスでプロジェクトを展開し、難民や庇護申請者への支援としてクライミングを活用しています。主に子どもや若者を対象に、メンタルヘルス、社会的統合、自己成長の支援に取り組んでいます。

私たちは2020年からClimbAIDの主要パートナーとして、用具提供や資金支援を行っています。毎年支援に加え、2024年にはスイスで開催された難民向けボルダリングウィークエンドにおいて、安全装備を提供しました。

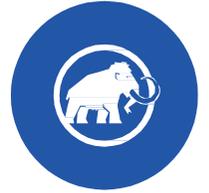
Protect Our Winters (プロテクト・アウ・ウィンターズ)

2007年にプロスノーボーダーのジェレミー・ジョーンズによって設立されたProtect Our Winters (POW) は、より厳格な気候変動対策の立法を求めて活動する国際的な非営利団体です。現在だけでなく将来の世代のためにも、地球を守る政策の推進に取り組んでいます。

私たちは2024年、毎年支援に加えて、2023年に展開した限定コレクション「Mammut X UNLESS」の全収益を、Protect Our Winters Switzerlandに寄付しました。

American Mountain Guides Association (アメリカ山岳ガイド協会)

American Mountain Guides Association (AMGA) は、教育の提供、基準の策定、そしてプロの山岳ガイドやクライミングインストラクターの地位向上を推進するリーダー的存在です。Mammutは1998年からAMGAのパートナーとして連携しています。



2021年、私たちはAMGAと共に、女性向けの奨学金制度を立ち上げました。アメリカ国内で、女性として認識されている国際山岳ガイド連盟（IFMGA）およびAMGAの完全認定ガイドはわずか16名しかおらず、私たちはこれまで男性が中心だったこの分野における障壁を取り除くことを目指しています。

この奨学金は、自らを女性と認識する人、そしてこの機会に共感するジェンダーに広がりを持つ個人にも開かれていました。私たちは、山岳ガイドのコースや試験に取り組むにふさわしい方々に、全額授業料支給のAMGA奨学金を授与できたことを誇りに思っています。加えて、受給者には安全装備を含むMammutのフルキットも提供されました。

2024年、私たちは「ギビング・チューズデー」イニシアチブ（北米のEC売上の5%をBIPOC奨学金に寄付する活動）を終了しました。これにより、AMGAのBIPOC奨学金基金への支援も終了しました。

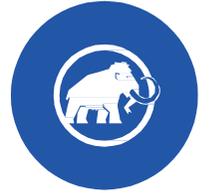
アメリカ雪崩研究教育協会

2024年、私たちはアメリカ雪崩研究教育協会（AIARE）のプロフェッショナル・グロース・ネットワークを支援しました。

以前は女性メンターシップ・プログラムとして知られていたこのプロフェッショナル・グロース・ネットワークは、対象者の拡大に伴い名称を変更しました。このプログラムは、アメリカの雪崩教育およびスノー産業における女性や、人種的マイノリティ、LGBTQIA2S+、障害者、介護者など、多様なアイデンティティを持つ人々の過小評価に取り組んでいます。経済的、社会的、その他の課題を含む、社会的に疎外された人々が直面する障壁を克服することを目指しています。

Paradox Sports（パラドックス・スポーツ）

Paradox Sportsは、障がいのある人は冒険に満ちた人生を送ることができないという固定観念を覆し、誰もが気軽にクライミングを楽しむ機会を提供しています。屋外でのロッククライミングやアイスクライミングのツアー、トレーニング、地域プログラムなどを提供しています。また、資金集めと認知度向上のため、パラドックス・スポーツは標高差5,280フィート（約1,540メートル）のクライミングチャレンジ「パラドックス・マイル」を主催しています。2024年には、マムートが機材の現物寄付でこのイベントを支援し、奨学金プログラムの一つにも資金を提供しました。



SheJumps

SheJumpsは、成長と変革を促す教育体験を通じて、女性と少女のアウトドア活動への参加を促進することを目指しています。SheJumpsの「Snowpack奨学金」は、アウトドア活動と雪崩安全に関する経験と教育を習得したい成人女性に、手頃な価格で参加できる機会を提供することを目的としています。2024年、マムートは現物寄付によりこの奨学金を支援しました。

インクルーシブ・アウトドアーズ

インクルーシブ・アウトドアーズは、アダプティブ・スノーボード、LGBTQIA2S+、BIPOCコミュニティを念頭に置いた山岳空間を創造しています。2024年には、モンタナ州ベアトウス山脈で世界初のアダプティブ・スノーボード教育コースが開催されました。3日間にわたり、10名のアダプティブ・スノーボード・アスリートがトレーニングを受けました。マムートは資金援助と雪崩安全キットを提供しました。

アダプティブ・クライマーズ・フェスト

アダプティブ・クライマーズ・フェストは、障がいのある方がそれぞれのニーズに合わせた方法でロッククライミングを体験できるよう、身体的および社会的障壁を取り除き、その問題に対処することを目的としたフェスティバルです。2024年には、マムートは参加奨学金に充当される資金援助を行い、フェスティバル中に使用されるロープを寄贈しました。

スイス赤十字社

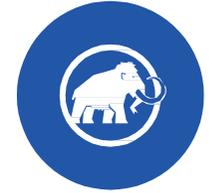
スイス赤十字社は、スイス最大の人道支援団体です。スイス全土の恵まれない人々や弱い立場にある人々の生活向上を目指す活動の一環として、私たちは冬物衣料を寄付し、貧困に苦しむ人々に配布しました。

欧州野外保全協会

私たちは2006年から欧州野外保全協会（EOCA）の会員です。

→ 生物多様性に関する彼らの活動について詳しく知る

会員組織とパートナー



私たちは、成功は集団的な協力によってのみ達成されると強く信じています。私たちの経験と専門知識を透明性を持って共有することで、他のブランドや組織の歩みをサポートしたいと考えています。こうした情報交換と外部パートナーからの継続的なフィードバックは、私たちの戦略と施策を継続的に見直し、改善していく上で役立っています。

私たちはコミットメントに署名し、目標を検証してもらいました。



当社は、さまざまなイニシアチブや業界コラボレーションのメンバーです。



私たちは、特定のコーポレート・レスポンシビリティ（企業の社会的責任）に関する国際的なワーキンググループに参加しています：

- カーボン削減プロジェクト（EOG）
- サステナビリティ・データ交換（EOG）
- ハードグッズ監査アライアンス（EOG）
- マイクロファイバー・コンソーシアム（TMC）
- 使い捨てプラスチック削減プロジェクト（EOG）
- 国連気候変動枠組条約（UNFCCC）

大学や専門学校との連携：学生と具体的な業界の課題に取り組むことは、研究の進歩を把握すると同時に、将来の才能ある人材を知るためのもう一つの手段です。

私たちは、複数の大学や専門学校と、長期にわたるパートナーシップとプロジェクトごとのパートナーシップの両方を結んでいます。



「私たちが愛する山の環境は
変化しています。組織として、
私たちにはそれに対応
する責任があります。」

主要パートナー

外部のツールや組織と連携することで、私たちの責任ある行動における透明性と説明責任が強化されます。業界団体やパートナーシップに加え、外部監査と知識共有を管理する主要パートナーが3社あります。

FAIR WEAR フェアウェア財団は、衣料品およびソフトウェア業界の労働条件改善に取り組む、多様なステークホルダーによるイニシアチブです。独立した検証機関として、フェアウェアは会員企業の生産慣行と一次縫製サプライヤーを監査し、ブランド、工場、そして労働者間の交流を促進しています。また、フェアウェアは工場労働者と経営陣向けの研修も提供し、何十年にもわたって業界に根付いてきた力関係の不均衡を是正しています。フェアウェアは2008年から財団のメンバーであり、アウトドアブランドとして初めて加盟しました。

→ フェアウェアメンバーシップについて詳しくはこちら

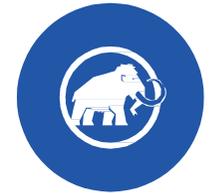
bluesign® Higg Indexは、Cascaleのミッションの中核を成すツールボックスです。

Cascaleは、バリューチェーン全体における炭素排出量や労働条件といった分野における組織の影響を標準化して測定するためのメカニズムを提供するために、Higg Indexを開発しました。Cascaleのメンバー、コンサルタント、業界専門家の支援と研究により、Higg Indexに含まれる手法は長年にわたり大きく進化してきました。ツールボックスには、Higg施設環境モジュール（FEM）、Higg施設社会・労働モジュール（FSLM）、Higgブランド・小売モジュール（BRM）、Higg材料サステナビリティインデックス（MSI）、Higg製品モジュール（PM）が含まれます。私たちは2018年からこれらのツールを活用しています。

→ 当社のパフォーマンスについて詳しく見る

→ FEMの結果について詳しくはこちら

→ FSLMの結果について詳しくはこちら



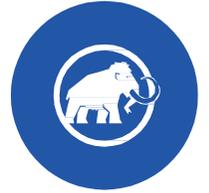
bluesign®は、より持続可能で責任ある繊維製造方法を開発するためのシステムを提供する、独立した世界的な認証機関です。

bluesign®の指導の下、私たちは製品に使用される素材の化学的安全性を確保するために、リスクベースの化学物質管理システムを導入しました。また、bluesign® SYSTEM物質リストに基づく制限物質リストを施行し、地域および国際法で求められる基準よりも高い基準の遵守に取り組んでいます。私たちは2011年からbluesign® SYSTEMのパートナーです。

→ bluesign®認証について詳しくはこちら

→ 当社の化学物質管理について詳しくはこちら

購買慣行



トレーサビリティと透明性は、サプライチェーンのあらゆる部分において重要です。2024年には、完成品サプライヤーは56社に上り、これらはTier 1サプライヤーと称されています。Tier 2サプライヤーは、生地や部品を供給しています。

購買の決定は調達責任者が行い、機能的な責任は最高製品責任者（CPO）が負います。当社は代理店や仲介業者を一切利用していません。新規取引を開始する前に、潜在的なサプライヤーを訪問し、生産方針と工場を評価し、当社の人権基準を満たしていることを確認します。パートナーシップ開始前に、すべての新規サプライヤーは契約書に署名し、フェアウェアの労働慣行規範と当社の使用制限物質リストの遵守を約束していただく必要があります。各シーズンのコレクションが生産された後、社会および環境コンプライアンスを含むサプライヤー評価を実施します。

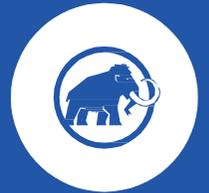
新規サプライヤーの採用は、購買、ベンダー管理、開発、品質保証など、慎重なプロセスです。最も一般的な新規サプライヤーの選定は、製品開発における新しい生産技術の導入など、商業的な理由からです。年間平均4社のサプライヤーを導入しており、既存のサプライヤーが複数の拠点で事業を展開している場合は、サプライヤーの入れ替えが発生します。2024年には、主にブランドコラボレーションをきっかけに、10社の新規サプライヤーを導入しました。新規サプライヤーや新規地域での事業展開に伴う社会的リスクを評価するため、当社のチームはフェアウェアと連携しています。フェアウェアは、各国の労働条件と人権侵害リスクを継続的に評価しています。

私たちは工場と直接連携し、生産スケジュールの計画や従業員の能力確認を行っています。一次サプライヤーとの関係は平均12年ですが、20年以上の取引実績を持つ企業も数多くあります。同様に、主要な二次サプライヤーである生地・トリムメーカーとも長期的な関係を築いています。

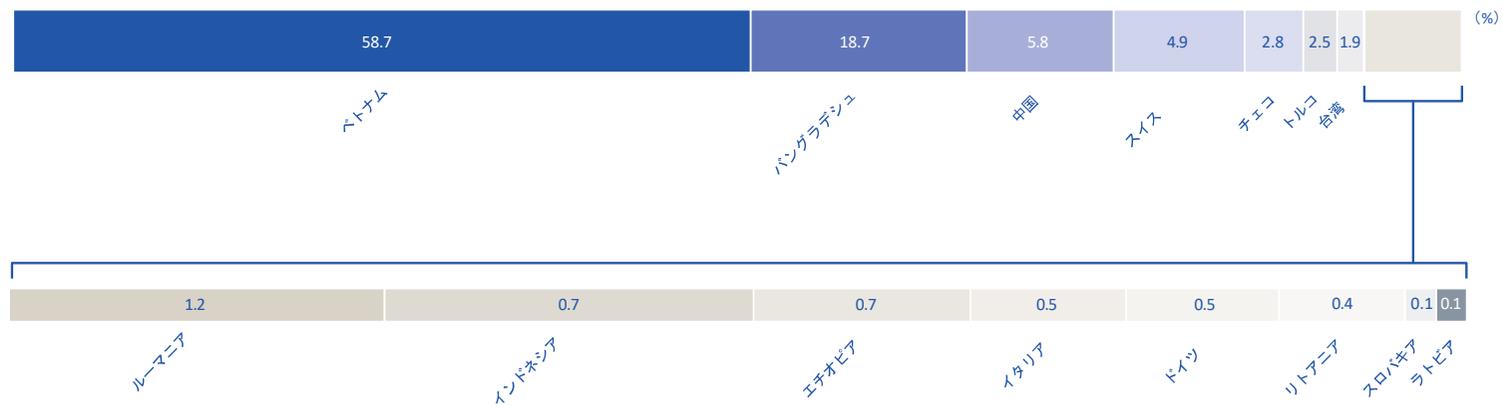
ビジネス関係の終了時には、責任ある倫理的な撤退を維持するよう努め、その決定を数か月前に伝えて、労働者を他のパートナーに再配置し、未使用の資材を最小限に抑えられるようにします。

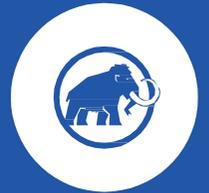
2024年、マムートは中国とラトビアでのアパレル生産を中止し、ベトナムとバングラデシュでの生産を拡大しました。インドネシアとエチオピアでは新たなサプライヤーを獲得し、韓国ではライセンスとの提携により事業を拡大しました。

→ 国別レポートで詳細を見る

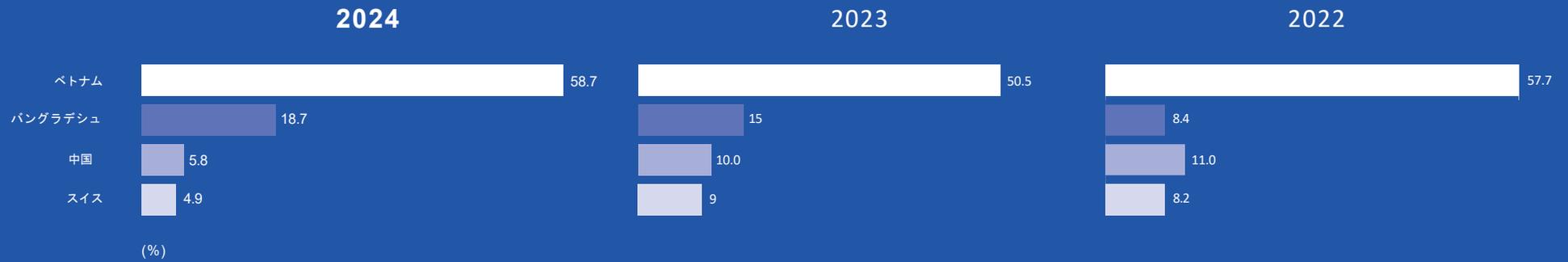


2024年の購買額別内訳

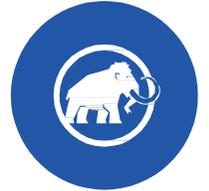




類似購買取引額別内訳



サプライヤー戦略



2023年には、サプライヤー戦略の見直しに着手しました。従来のTrusted Partner Programとは異なり、新しいアプローチは、購買額に関わらずすべてのサプライヤーに適用されます。2023年には完成品Tier 1サプライヤー戦略に着手し、2024年には生地Tier 2サプライヤー戦略に着手しました。

Tier 1 とTier 2 の両方を対象とする改訂されたサプライヤー戦略は、次の5つの柱に基づいています。

1. 原則

効率性、品質、従業員の福利厚生、そして2027年に向けたコーポレート・レスポンシビリティと価値創造計画の目標に取り組む16の原則。社会的・環境的要件に関連する5つの原則はすべて、サプライヤーが遵守することが必須です。

2. 主要業績評価指標

製品をパートナーに適切に配分するため、新たなサプライヤー分類を開発しました。製品とサプライヤーは、必要なスキル、ゴア社のライセンス、そして製品の製造におけるイノベーションのレベルに基づいて分類され、共通の目標を持つ相互に有益なパートナーシップを実現します。

3. 共同事業計画

長期的な生産能力を確保し、成長計画を整合させるため、ほとんどのサプライヤーと共同事業計画（JBP）を締結しています。JBPは、双方の期待とコミットメントを明確に規定するものです。私たちは、サプライヤーの約80%とJBPを締結することを目指しています。

4. 地域戦略

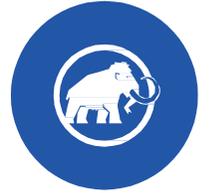
オフショアとニアショアの連携と適切なパートナーの組み合わせによるバランスの取れたアプローチを通じて、生産能力と成長を実現します。

5. 契約の設定

購入契約を更新し、新しい支払いスケジュールを導入します。

改良された戦略は、世界的なショックにも耐えうる、より環境に配慮した競争力のあるブランドを作り上げることを目指しています。

サプライヤーエンゲージメント



サプライチェーンに効果的な変革を起こすには、信頼と協力に基づくパートナーシップが不可欠です。他社との競争に先立つ取り組みや、サプライヤーとのより協力的なパートナーシップの構築は、当社の将来の戦略の鍵となります。

2024年ベトナムサプライヤーサミット

2024年10月、ベトナムのホーチミン市にある当社の新しいソーシングオフィスに、49社の一次および二次サプライヤーから103名の代表者が訪れ、3回目となる年次サミットを開催しました。このサミットは、当社の歴史における節目となるベトナムオフィスの開設記念式典と時期を合わせたもので、サプライチェーンパートナーとのより緊密な関係を築くことができました。

2024年サプライヤーサミットは、サプライチェーンにおける関係構築に焦点を当て、当社の目標と戦略をアップデートし、共に成長していくための方法を明確にすることを目指しました。ソーシング戦略、品質アップデート、責任要件などのトピックに関する12のプレゼンテーションに加え、マムートの行動文化の紹介も行われました。

サミットのハイライトは、3社のサプライヤーがそれぞれのベストプラクティスを共有し、他のサプライヤーが学び、刺激を受けたことです。サプライヤーからは好意的なフィードバックが寄せられ、多くのサプライヤーが、ブランドとサプライヤーの関係においてまだ業界標準とは言えない、現場でのミーティングの機会を大変ありがたく思っていると述べていました。

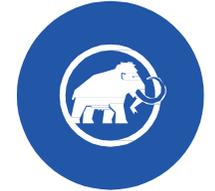
炭素削減プロジェクト

欧州アウトドアグループ（EOG）が主催する炭素削減プロジェクト（CRP）は、抜本的な連携と透明性を通じて温室効果ガス排出量の削減を目指しています。2023年以前は、サプライチェーン脱炭素化プロジェクト（SCDP）と呼ばれていました。私たちは2021年、バリューチェーン全体における繊維の湿式加工が主な気候影響となっている9つのアウトドアブランドと共に、CRPの立ち上げに参加しました。私たちは協力して、上位1次および2次サプライヤーの重複部分をマッピングし、これらのサプライヤーの影響を個別ではなく、全体として対処できるようにしました。2022年には、EOGが選定した外部パートナーであるRESETcarbonが施設監査を実施し、サプライヤーと共に排出ホットスポットを特定しました。

監査を受けた20の施設は、同社の支援を受けて、再生可能エネルギーへの移行に向けた気候変動対策計画とカーボンリーダーシップ目標を策定しました。

ケーススタディの発表により、最初のCRPパイロットは2023年に完了したと宣言されました。2024年には、最初のCRPコホートが、提供されたエネルギーデータの正確性とサプライヤーが講じた潜在的な対策に関するフォローアップ監査に資金を提供しました。台湾における再生可能エネルギーの選択肢の分析やサプライヤー向けのフォローアッププログラムなど、追加のプロジェクトも進行中です。最初のCRPフレームワークは、新しいサプライヤーやブランドが参加できるオープンな環境であり、2025年第2四半期に第3コホートから開始される予定です。共同資金調達体制の構築は困難であることが判明しています。EOGが主導する「気候のためのインパクト・アクセラレーター・ファンド」と呼ばれる業界共同基金について、現在議論が続いています。この基金は、アウトドア業界のサプライチェーンにおける脱炭素化プロジェクトと気候変動緩和策に特化しています。

パフォーマンス評価



私たちの社会・環境への影響、ガバナンスへの取り組み、そして業界平均との比較について、幅広い概要を把握するために、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）、Stand.earthの化石燃料フリー・ファッション・スコアカード、Higgブランド・アンド・リテール・モジュール（BRM）といった様々なベンチマークツールを活用しています。これらのツールは、気候戦略から製品の寿命に至るまで、私たちの活動の詳細な分析を提供し、業界標準と比較したパフォーマンスに関する洞察を提供します。

カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）は、特に炭素排出量と気候危機対策の観点から、環境への影響を測定・管理するための包括的なフレームワークです。このベンチマーク機関である非営利団体は、2023年に23,000社を調査・評価しました。D-からAまでのスコアは、主に投資家がブランドの環境パフォーマンスを評価する際に利用されています。当社は、徹底的な自己評価とCDPによるレビューを経て、2024年にはBの評価を獲得しました。2022年と2023年は、それぞれCとBの評価を獲得しました。

Stand.Earthの化石燃料フリー・ファッション・スコアカードは、化石燃料への依存を減らし、再生可能エネルギー源への移行に向けた当社の取り組みを2年ごとに評価するベンチマークです。2023年の総合評価はCで、世界のアパレル・フットウェア企業43社中9位でした。本レポートの発行時点では、2025年の評価結果はまだ発表されていません。

Higgブランド・リテール・モジュール（BRM）は、環境、社会、そしてライフサイクルの各段階を分析する包括的な自己評価です。当社が最後に検証を受けた評価は2020年で、評価されたすべての項目で平均以上のスコアを獲得しました。ベンチマーク目的でBRMを引き続き使用していますが、Cascaleのメンバーシップに必須ではなくなったため、検証は中止しました。未検証の結果を共有することは許可されておらず、Cascaleの要件に従って検証を更新していきます。

Fashion Revolutionによる2024年版「What Fuels Fashion?」レポートにおいて、マムートは19%のスコアを獲得しました。

全ブランドの平均スコアは18%でした。当社の規模とFashion Revolutionによる調査範囲の調整により、今後の評価には反映されません。

オンラインプラットフォーム「Good On You」による最新ランキングで、当社のランキングは2024年12月に「It's a Start」から「Good」に向上しました。

2024年、当社はスポーツ用品小売業部門でドイツサステナビリティ賞を受賞しました。

これらのベンチマークツールを活用することで、当社のパフォーマンスを業界平均と整合させることができます。ベンチマークは、当社の成果を明らかにするだけでなく、継続的な改善活動の指針にもなります。社会貢献ベンチマークにおける当社の主要パートナーは、Fair Wearです。

→ フェアウェア財団のフェアウェアブランドパフォーマンスチェックについて詳しくはこちらをご覧ください。



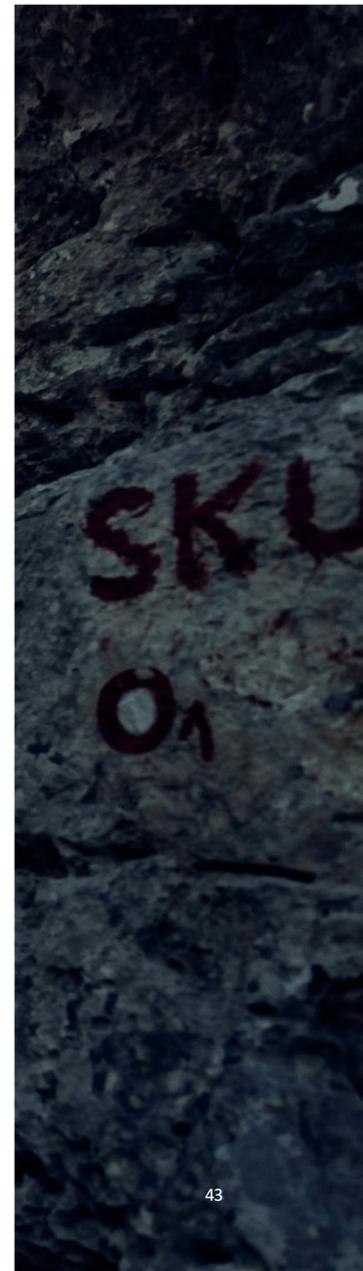
循環性とサービス

循環型社会の実現とクローズドループ・イニシアチブの構築を通じて、資源消費、廃棄物、そして排出量を削減しています。

これは有望な取り組みですが、バリューチェーン全体にわたるパートナーと共に循環型デザインを拡大していくことは、業界全体として直面している課題です。だからこそ、製品のライフサイクルと開発アプローチの延長も、私たちのレスポンシビリティ戦略全体における主要な焦点であり続けています。

私たちの製品品質は、「資源の採取、製造、廃棄」という直線的なシステムを解体するための第一歩であり、私たちは、季節やアクティビティを問わず、長年にわたる冒険的な使用に耐えうる、汎用性、耐久性、そして修理可能なアウトドアギアの設計に尽力しています。製品寿命をさらに延ばすため、2024年にはEUと英国における修理サービスの提供を改善・拡大することに注力しました。

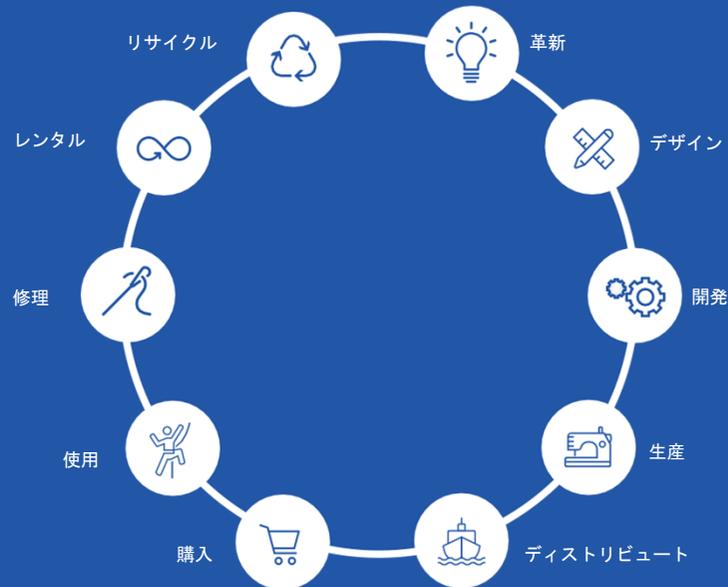
2024年のレンタルサービスについては現時点ではご報告できませんが、レンタルパートナーであるCirkel Supplyと協議を続けています。



循環性

責任ある消費

- **減らす**
長持ちするものを買う
- **再利用**
製品を大切に扱い、使い続ける
- **修理**
製品寿命の延長
- **リサイクル**
廃棄ロープを集めて活用する



責任ある生産

- **循環性とサービス**
循環性に向けたデザイン
- **アニマルウェルフェア**
ダウン | レザー | ウール
- **影響の軽減**
気候 | 安全な調達
- **エシカルな生産**
公正な労働条件

品質と耐久性



社内の開発・試験ラボでは、製品のライフサイクル全体を評価・再現しています。摩擦試験、安全性確認、摩耗試験は、製品の長寿命化を実現する設計において重要な役割を果たします。

2024年には約4,000件の品質検査を実施し、設計変更、生産工程の改善、さらには一部製品の生産中止に至りました。品質検査件数は2023年と比較して安定しています。

サプライヤーには、生産前検査やインライン検査への積極的な参加を促し、生産プロセスの早い段階で潜在的な問題を早期に発見し、解決困難な品質問題の発生リスクを最小限に抑えています。2024年には、社内品質チームメンバーが実施する研修プログラム「認定工場監査員プログラム」を導入しました。このプログラムにより、サプライヤーは自己検査を実施し、エラーを早期に発見し、出荷プロセスを迅速化できるようになります。

さらに、プロセスを合理化し、品質保証チームを再編しました。全世界で8名の品質管理担当者が、アパレル、フットウェア、ハードウェア製品の最適化に取り組み、最高の品質を保証するよう努めています。

2024年には、品質問題が合計24件発生しました（前年比54%減）。また、新発売のBarryvox 2およびBarryvox S2雪崩ビーコンについて、電源スイッチの潜在的な不具合により自主リコールが1件発生しました。検査依頼はゼロでした。今後のシーズンで同様のリコールが発生しないよう、より厳格な品質管理対策を実施し、製品テストプロトコルを強化していきます。

→ [当社のテストラボについて詳しくはこちら](#)

素材開発：ドリームシリーズ



進化は繰り返し起こります。ドリームシリーズの寝袋シリーズは、生地の無駄と環境への影響を減らす方法を模索する機会となりました。

当社のデザイナー、素材開発者、コーポレート・レスポンスイビリティのスペシャリスト・チームによる調査の結果、この製品シリーズは、快適性を優先しながらもより手頃な価格になるように研究されテストされた素材で作られています。

分析の結果、ドリームシリーズの合成繊維製寝袋は、リカバリーシリーズと比較して排出量が18%少ないことが分かり、驚きました。一方、ドリームシリーズのダウン入り寝袋は、排出量わずか4%しか少ないという結果でした。リサイクル素材の密度と総重量が高かったため、素材変更によるエコロジカル・フットプリントへの影響は予想よりも少なかったのです。その結果、以下の貴重なガイドラインが得られました。

- ・ リサイクルは必ずしも環境負荷が少ないことを意味するわけではない
- ・ ポリエステルはナイロンよりもCO₂排出量が少ない
- ・ 丈夫な繊維はより耐久性が高い
- ・ ニット生地は織物よりもエネルギー消費量が少ない

製品の重量は環境への影響と相関関係にあることが多く、重い製品は、同じ製品でも軽い製品よりも全体的な環境への影響が大きい傾向があります。しかしながら、重い素材を使用することで耐久性が向上し、製品寿命が延びる場合が多いため、使用事例や製品の種類に応じて、あらゆる要素を考慮する必要があります。

生地の使用を最適化することで、チームはドリームシリーズでの生地使用量を33%削減しました。これは、当社の素材開発と使用における大きな進歩です。



修理

屋外用機器を長期的に使用することが、環境への影響を削減する最も簡単な方法です。

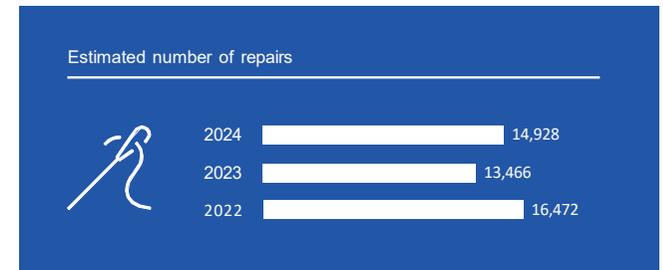
当社は製品の耐久性に自信を持っておりますが、過度の使用、素材の劣化、あるいは事故などにより損傷が発生する可能性があります。ジッパーの交換が最も一般的な修理方法ですが、当社の縫製職人は、工業用・特殊機器・工具を用いて、より複雑な修理も承っております。

製品の早期廃棄を防ぐため、スイスのゼーンにある本社とドイツのヴォルフアートシュヴェンデンにある物流センターの2つの修理スタジオで、18名のチームメンバーが勤務しています。今後の修理依頼の増加に対応するため、2024年には外部の修理専門業者であるUnited Repair Centreと提携しました。アムステルダムとロンドンを拠点とするこの社会的企業は、労働市場から遠く離れた人々の雇用創出を目指しています。

2024年には、スイスとドイツのリペア&ケアチームとのプロセスの連携と合理化を図り、品質チームとの連携を強化しました。修理データは、開発チームとデザインチームが新製品開発サイクルにおいて効率的に評価できるため、フィードバックをより効果的に反映し、継続的改善プロセス（CIP）を実践できます。

破損した製品をお持ちの方は、洗濯したばかりの製品をお近くの小売店または当社の店舗にお持ち込みいただき、査定を受けることができます。オンラインでご購入いただいた製品は、2024年にリニューアル・簡素化されたリペア&ケアウェブサイトにて、写真と不具合の説明をアップロードしていただけます。

2024年には、世界中で推定14,928台の製品を修理しました。欧州大陸と英国では10,913台の製品を修理しました。また、北米で126件、中国で2,636件、日本で1,217件、ノルウェーで36件の第三者による修理を確認しています。



当社の強力な小売パートナーネットワークでは、報告されていないマムート製品の修理が大量に行われています。

→ [保証と修理に関するお問い合わせ](#)

製品のお手入れ



アウトドア用品のお手入れは見た目を良くするだけではありません。耐久性を高め、プロテクションを維持することも重要です。

汗、汚れ、日焼け止めは、機能的繊維やロープに悪影響を与える可能性があります。そのため、機器の適切な洗浄と保管方法を知ることが重要です。定期的なお手入れは、機器の性能と安全性を維持し、寿命を延ばし、環境への影響を軽減するのに役立ちます。

お客様をサポートするため、ハードシェルジャケット、ダウンジャケット、シューズ、ロープなど、人気商品について、ウェブサイト上で詳細なお手入れ方法を説明した動画を公開しています。万が一、商品が破損した場合は、地域の修理工房または提携業者にご送付いただくことも可能です。

2017年から2024年まで、ドイツで洗濯・防水加工サービスを提供していましたが、残念ながら、このプログラムは経済的に困難な状況となり、2024年に終了いたしました。ドイツのお客様には、このサービスのために提携している外部パートナーに直接お問い合わせいただくことをお勧めします。

当社の製品ケアを世界中のユーザーがより利用しやすくするために、2024年に当社Webサイトに「修理とケア」ランディングページを導入しました。

[→ 製品ケアリソース](#)



“ 屋外用機器を長期的に使用することが、環境への影響を削減する最も簡単な方法です。 ”

マムート ループインサレーション



ロープは当社のブランドDNAと歴史の中心ですが、環境への影響という点では、ロープの生産が当社の年間二酸化炭素排出量の約6%を占めており、深刻な課題となっています。

この問題に対処し、より循環型のビジネスモデルを構築するため、2020年にProtect Our Winters Switzerlandの協力を得て、「Close the Loop」プロジェクトを試験的に実施しました。この回収プログラムは、スイス全土のクライミングジムで展開され、使用済みのクライミングロープを回収し、リサイクルして新しい製品に使用しています。私たちの目標は、ロープからロープへのリサイクルプログラムを設計することですが、生産される糸は、クライミングロープの安全性要件を満たすには不十分です。

ロープがカーボンフットプリントに及ぼす大きな影響に対処するため、ロープを断熱材として再利用できないか、またその方法を模索することにしました。調査の結果、ポリamid製のクライミングロープは効果的な解決策ではないという結論に至りましたが、工業用ロープから切り出されたポリエステル製の切れ端には優れた断熱性があります。

この素材から、マムートループインサレーション (LOOPINSULATION) を開発しました。

ロープ製造における長年の協力関係にあるTeufelberger社は、ポリエステルロープの生産過程で発生する廃棄物、つまり本来は廃棄されるはずだった端材を提供してくれました。イタリアの詰め物メーカーであるImbotex社は、断熱詰め物の開発においてパートナーとなりました。端材となったポリエステルロープは撚りを解いて1本のロープストランドにし、ブラッシングした後、再生PET (rPET) と50/50の割合で混合します。追加の化学薬品、接着剤、水は一切使用していません。こうして生まれたのが、ヨーロッパ製のふわふわとしたポリエステル詰め物とクラスタ詰め物です。

マムートループインサレーションの生産では、標準的なバージンポリエステル断熱材と比較して、二酸化炭素排出量が48%削減されます。この計算には、ヨーロッパからアジアの衣料品メーカーへの輸送に伴う排出量も含まれていません。*

CO2排出量の削減量は標準的なrPET断熱材を使用した場合と同等ですが、Mammut LOOPINSULATIONは、追跡が困難な供給源からのrPETと、閉ループリサイクルシステムに残る可能性のあるPETボトルの量を半減させます。また、Mammut LOOPINSULATIONはサプライチェーンの透明性も向上させます。

2024/2025年秋冬シーズンでは、12トンのロープの生産端材をマムートループインサレーションに再利用しました。

* 帰属に関する声明：CO2排出量の推定値は、Higg MSI 3.7を用いてモデル化されました。これらの値はMammut Sports Group AGによって算出されたものであり、第三者による検証は行われていません。

Mammut
Loopinsulation

余剰材料と売れ残った商品



廃棄される資源を最小限にするため、専用のチームが毎月集まり、余剰資材の管理について話し合っています。また、売れ残りの商品の管理体制についても改善に努めています。

残った材料は次の2つのカテゴリーのいずれかに分類されます。:

- ・余剰生地：使用中止となり、今後のシーズンで使用しない生地。
- ・サンプル生地：サンプル用に購入し使用したものの、生産には投入されず不要になった生地。

毎シーズン終了後、余剰生地の在庫を確認し、次のシーズンの製品にこれらの生地を組み込む計画を立てます。

私たちの目標は、廃棄物を最小限に抑え、素材の有効活用を最大限にすることです。それが不可能な場合は、カスタム製品や少量生産の製品に素材を使用する代替策を検討します。

ロープの残り物であるナイロン素材から、WE CAREクラシックとドライロープを製造しています。これらのロープは、工場で色を変える際に残った糸を原料としています。それぞれのロープは、厳選された糸の混紡によって独特の色彩模様を呈しており、当社の品質基準を完全に満たしています。2024年には、ロープの残り物であるナイロン素材から7,660本のWE CAREロープを製造しました。これは前年よりわずかに増加しており、また、約30,000点の新しいアパレル製品が余剰素材から生み出されました。

売れ残った商品については、より正確な追跡システムの構築を進めています。売れ残った商品のほとんどはアウトレットで販売されるか、寄付されています。ロープやヘルメットといった個人用保護具（PPE）を中心に、一部の商品は安全上の理由から廃棄されています。2025年のレスポンシビリティレポートでは、廃棄された売れ残った商品の数量を初めて報告します。



アニマルウェルフェア

メリノウール、ダウン、レザーは、スリーピングバッグ、ハイキングブーツ、アパレルなど、一部の製品に使用されている天然素材です。当社は、動物福祉において最高水準を維持することに努めており、責任ある畜産を実践する農場とのみ提携し、サプライチェーン全体の透明性の確保を目指しています。



当社は認証を受けたファーフリー・リテラー（毛皮を使用しない小売業者）であり、エキゾチックまたは絶滅危惧種の毛、皮、その他の素材を一切使用していません。動物由来素材のサプライヤーには、畜産、輸送、屠畜に関して、国際的に最も厳格な基準に従うことを義務付けています。

私たちは、私たちの価値観に沿った方法で革を調達することに尽力していますが、サプライチェーン全体において、製品のために牛が飼育または屠殺されていないことを確認することがますます困難になっていることについて、国際的な動物福祉団体であるFour Pawsと協議してきました。

フォー・パウズからの提言に基づき、当社は「5つの自由（Five Freedoms）」のアプローチを導入しました。この考え方は以下の5つのカテゴリーで構成されています：

「良好な栄養」「良好な環境」「良好な健康」「適切な行動的相互作用」「ポジティブな精神的体験」です。



ダウン&ウール



レスポンシブル・ダウン規格

当社のアパレル、アクセサリ、寝袋に使用されているバージンダウンの100%は、Responsible Down Standard (RDS) 認証を取得しています。

RDS認証は、当社の製品に使用されているダウンと羽毛が、適切に扱われたアヒルとガチョウから採取されたものであることを保証し、品質と倫理的な調達に対する当社の価値観を反映しています。

生きたまま羽毛を採取したり、強制給餌したりすることは禁止されており、鳥は誕生から最期まで敬意を持って扱われます。RDS認証のダウンは、最終製品から原産地まで、サプライチェーン全体を通じて追跡可能です。

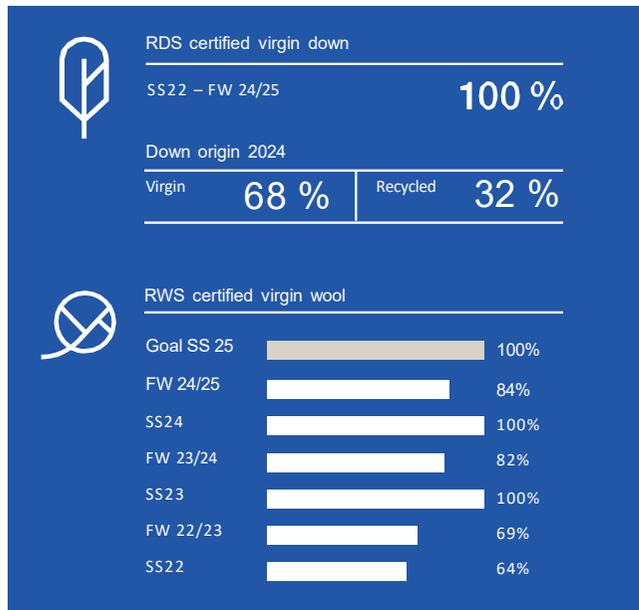
私たちはバージンダウンからの脱却に向けた取り組みを強化することを決定しました。2024年には、ダウン全体の32%がリサイクルされました。



レスポンシブル・ウール規格

メリノウールは、私たちのアパレルに使用されている素材の一つです。レスポンシブル・ウール規格 (RWS) は、独立した認証機関であり、ウールが「五つの自由」のアプローチを遵守し、土壌の健全性、生物多様性、そして在来種を保護する革新的な土地管理手法を実践している農場から来ていることを保証します。さらにRWSは、認証農場で生産されたウールが適切に識別され、追跡されていることを保証します。

2024/2025年秋冬コレクションのウール製品のうち84%、2024年春夏コレクションのウール製品のうち100%に、ミュールジングフリー認証を含むRWS認証ウールが使用されています。サプライヤーの自己申告によると、2024/2025年秋冬コレクションで生産される残りの非認証バージンウールもミュールジングフリーです。



レザー



テラケア®&レザーワーキンググループ



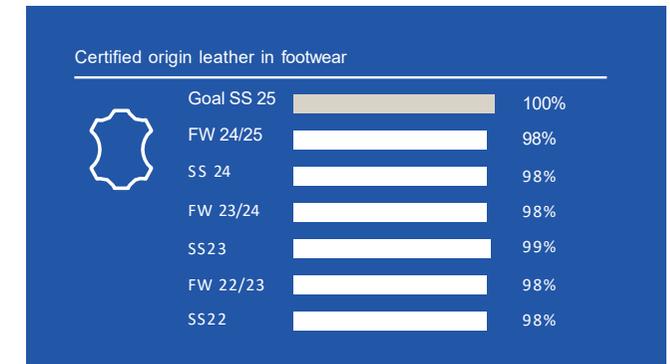
私たちは、その優れた性能と耐久性からレザーを使用しています。アニマルウェルフェアへの取り組みに沿ってレザーを調達することに尽力していますが、Four Pawsの活動を通して、サプライチェーン全体において、製品の製造のために特定の牛が飼育または屠殺されていないことを確認することがますます困難になっていることに気づきました。

さらに、なめし工程は社会と環境に大きな影響を与える可能性があります。そのため、私たちはWE CAREへのコミットメントをすべて満たすために、レザーワーキンググループ（LWG）認証の革を使用するよう努めています。LWGはなめし工場の監査を行い、廃水、エネルギー使用量、トレーサビリティなどを調査しています。

私たちの靴に使用されているヌバックレザーには、ドイツで最も歴史のある専門メーカーの一つ、ヨーゼフ・ハイネン社製のterracare®パフォーマンスレザーを使用しています。terracare®によると、その製造工程では業界平均と比較してCO2排出量が30%、水使用量が40%削減されます。この平均値は、レザー・ワーキング・グループの認証も取得しているなめし工場によって算出されており、terracare®は同業他社よりも環境負荷を大幅に低減できる可能性があります。

当社が厳選した皮革サプライヤーはすべて、レザーワーキンググループによるブロンズ以上の格付けを受けています。terracare® と Rino Mastrotto グループはLWGによってゴールドの格付けを受けています。

2024年夏時点で、当社のレザーの98%はterracare®またはイタリアのRino Mastrottoグループによる認証原産地のものとなっています。2025年までに100%認証レザーの使用率を達成することを目標としています。





環境負荷 の低減

グローバルなバリューチェーンにおける物理的な製品の生産は複雑であり、それに伴う環境負荷の低減も同様に難しい課題です。これらに伴うカーボンフットプリントや廃棄物の影響を同時に管理・削減するには、差別化されたアプローチが求められます。

当社の削減目標は、炭素排出量、水の使用量、バージン素材の使用量などに及び、加えて、有機農法を通じた土壌の健全性の確保や、分解されないマイクロファイバーや耐久性撥水剤の脱落といった課題にも取り組んでいます。

輸送や梱包といった物流に関する意思決定や、社内業務の改善への取り組みも、環境負荷の削減において重要な要素と考えています。気候変動への具体的な行動と、bluesign®およびHiggといった監査パートナー、さらにClimeworksおよびKlimateといったカーボンリムーバルのパートナーとの連携により、私たちは環境への影響の低減に向けて相乗的に取り組んでいます。



気候変動対策



私たちの気候は危機に瀕しています。私たちが愛する山岳地帯の環境は変化しています。組織として、私たちはこれに対応する責任があります。

2018年以来、私たちの年間カーボンフットプリントは、気候変動戦略の基盤となっています。私たちのモットーは「最善を尽くし、残りは除去する」です。これは、自然由来、技術、あるいはハイブリッドなアプローチなど、具体的で進歩的な気候変動対策と測定可能な炭素除去ソリューションに注力することを促しています。パリ協定の国連ファッション業界気候行動憲章に署名した私たちは、2050年までにネットゼロを達成することを約束しています。地球温暖化を産業革命以前の水準から1.5°Cに抑えるという私たちの役割を果たすため、私たちは科学的根拠に基づいた目標を設定し、バリューチェーンを大幅に脱炭素化するための対策を特定しました。2030年の目標は、最新の科学的根拠に基づいた目標イニシアチブ（SBTi）の企業ネットゼロ基準によって検証されており、2050年のネットゼロ目標についてもSBTiによる検証を受けるよう取り組んでいます。SBTiは、米国カーボン・ディスクロージャー・プログラム（CDP）によって開始されました。

国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）。

私たちの目標は、基準年である2018年と比較して、2030年までに温室効果ガス排出量を55%削減することです。

そのためには、現在の事業慣行のあらゆる側面を見直す必要があります。私たちは、以下の方法で最善を尽くします。

- 事業運営および工場からの調達において、再生可能エネルギーを使用する
- 環境負荷の低い素材と製造プロセスの使用を増やす
- 世界中で製品を輸送する際の環境負荷を低減する
- 製品の寿命を延ばし、容易に修理できるようにする
- 代替となる循環型ビジネスモデルを模索する
- 消費者の参加を促し、規制強化を支持して政策変更を加速させる

残りの二酸化炭素は、革新的な炭素除去技術への投資によって除去します。

2050年のネットゼロ目標を達成するには、排出量を少なくとも90%削減し、残りの避けられないCO2排出をすべて大気中から除去する必要があります。

- 炭素除去パートナーの詳細については、ClimeworksとKlimateをご覧ください。
- 科学的根拠に基づいた目標イニシアチブ（SBTi）の企業ネットゼロ基準について詳しくはこちらをご覧ください。

私たちの目標

2050

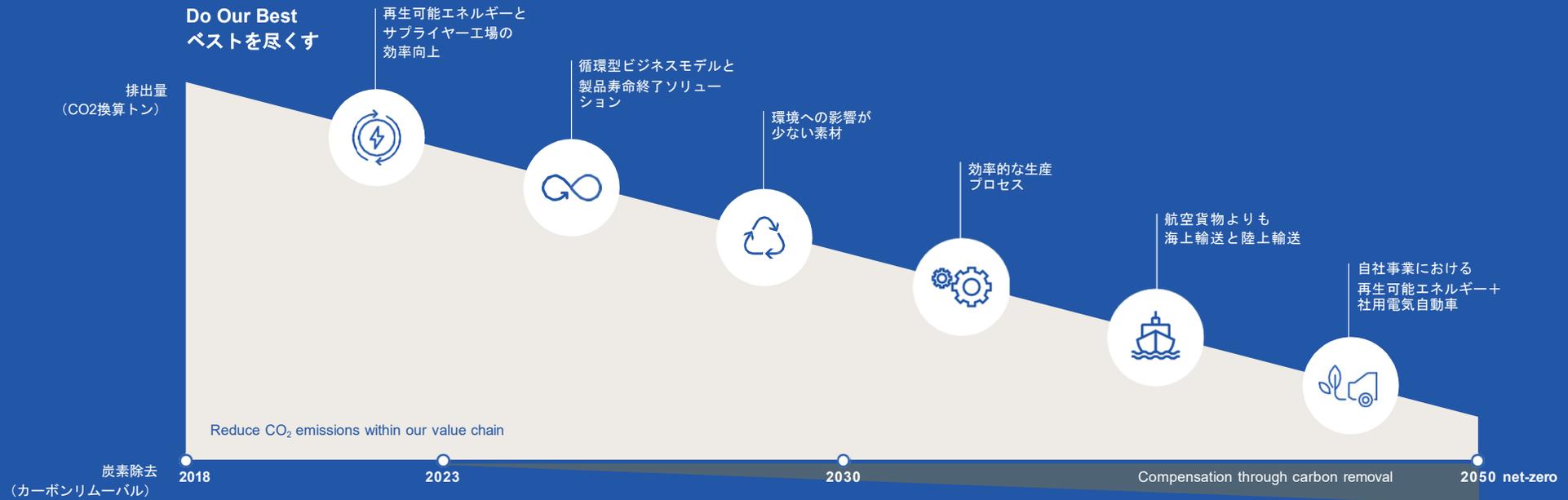
→ Net-zero



地球温暖化を抑制するという全体的な目標を支持します

1.5°C

最善を尽くし、残りは除去する



Remove the rest 残りを除去する

私たちの目標は、基準年である2018年と比較して、2030年までに温室効果ガス排出量を半減させることです。

目標と範囲

当社のCO₂排出量数値(カーボンフットプリント)は、組織の排出量を分析するための主要標準である温室効果ガスプロトコル(GHGプロトコル)に基づいて算出されています。このプロトコルは3つのスコープ(カテゴリー)に分類されており、これにより排出量の目標と戦略を明確に定義することができます。



Scope 1
社用車や本社の技術設備など、当社が所有または管理する施設およびツールからの排出を対象としています。

Scope 2
当社が直接購入する電気、蒸気、暖房、冷房からの間接排出に対処します。

Scope 3
最大かつ最も困難なカテゴリーで、製造工程における未使用材料から従業員の通勤、製品の廃棄処理に至るまで、生産段階と販売後のすべての排出に関わるものです。これらの段階は、生産活動では上流、販売活動では下流と呼ばれます。より持続可能なサプライチェーンとバリューチェーンの構築は、スコープ3の排出量に大きな影響を与えます。そのため、当社の気候変動対策戦略は上流と下流の活動に重点を置いています。



2030年に向けた科学的根拠に基づく目標

Scope 1 & 2

-80%

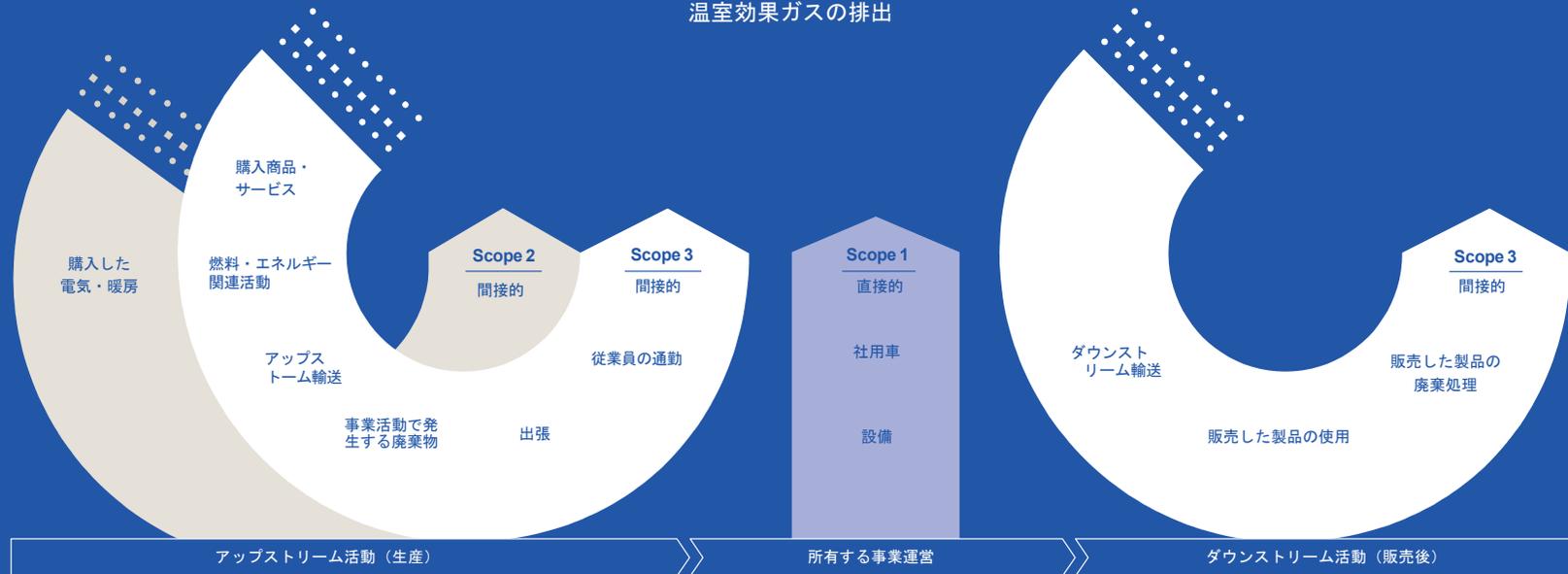
Scope 3

-55%

SCOPE 1 - 3



CO₂ CH₄ N₂O HFC_s PFC_s SF₆
二酸化炭素 メタン 亜酸化窒素 代替フロン 有機フッ素化合物 六フッ化硫黄
温室効果ガスの排出



カーボンフットプリント



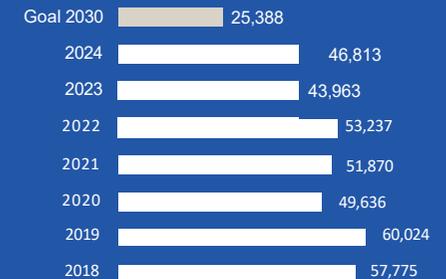
2024年の当社のカーボンフットプリントは、推定46,813トン（CO2換算）でした。これは2023年と比較して約6.5%の増加となり、これは事業活動の拡大によるものです。一方、炭素強度は2023年と比較して0.3%のわずかな減少となりました。

炭素強度（Carbon Intensity）の測定は、企業の経済生産高に対する環境影響を評価し、収益単位あたりの二酸化炭素排出量を計算するために使用されます。これにより、資源をどれだけ効率的に使用しているか、そして経済成長が排出量の増加と連動しているかどうかを把握するのに役立ちます。わずか数年で、私たちはカーボンフットプリントのデータ収集プロセスを進歩させ、事業所やサプライヤーから独自に収集したデータを使用することで、Cozeroテクノロジーとの提携による計算の精度を最大限に高めています。企業のカーボンフットプリントを計算する際には、データの検証と計算に不確実性が伴います。これはアパレル業界全体が直面している問題であり、私たちは継続的に改善を目指しています。

マムートの2024年の二酸化炭素排出量



二酸化炭素換算-トン* (CO2排出量)



* CO2換算値は、様々な温室効果ガスの地球温暖化係数（GWP）に基づいた単位です。

Scope 1、Scope 2の事業における CO₂排出量の削減

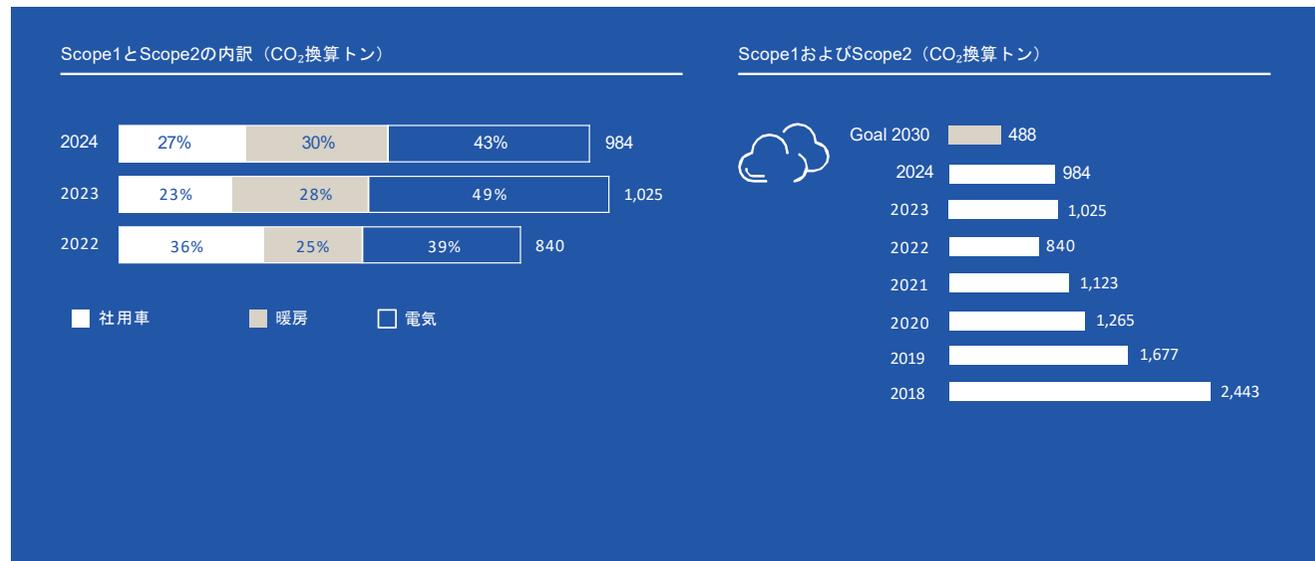


当社のScope1 および Scope2 の排出量は、2024 年の二酸化炭素排出量の 2.1% を占め、合計で 984 トンの CO₂ 換算値となりました。

Scope1 と Scope2 の合計排出量が 4% 減少したのは、主に Scope2 の排出量の減少によるものです。これは、北米事業における電力の脱炭素化が牽引しました。Scope2 の脱炭素化の一環として、事業拡大に伴うエネルギー消費量の増加にもかかわらず、北米と英国における電力が再生可能エネルギー由来であることを証明しました。

2024年の優先事項とハイライト
北米子会社の電源マッピングを実施

→ 内部オペレーションの詳細



CO₂排出量の削減

Scope 3のアップストリームとダウンストリーム活動において



当社のScope 3の影響は、温室効果ガス総排出量の97.9%を占めており、そのため、これらの活動に取り組むことで、全体的なフットプリントを削減できる可能性が最も高くなります。

2024年のScope 3排出量は、CO₂換算で45,828トンと推定されました。Scope 3、特に「購入した製品およびサービス」のサブカテゴリーにおけるカーボンフットプリントは、炭素会計における最大の課題ですが、製品フットプリントの計算は大幅に改善しました。炭素会計を強化するため、最新の研究と欧州委員会が策定した製品環境フットプリントカテゴリールール（PEFCR）手法に基づき、使用済み製品のカテゴリーの想定を見直しました。このフレームワークは、ライフサイクルアセスメント（LCA）の原則に基づく製品環境フットプリント（PEF）手法に基づいています。

2024年度のスコープ3排出量は、前年度と比較して6.8%増加しました。これは主に事業成長によるものです。

この増加の要因としては、購入した製品・サービス、下流の製品関連活動、上流の輸送、出張、従業員の通勤による排出量が挙げられます。明るい材料としては、購入した製品・サービスによる排出量の増加率は購入製品数の増加率よりも緩やかであり、より責任ある購買慣行への移行が示唆されています。さらに、製品1個あたりの輸送による排出量は約3%減少しました。

2024年の優先事項とハイライト

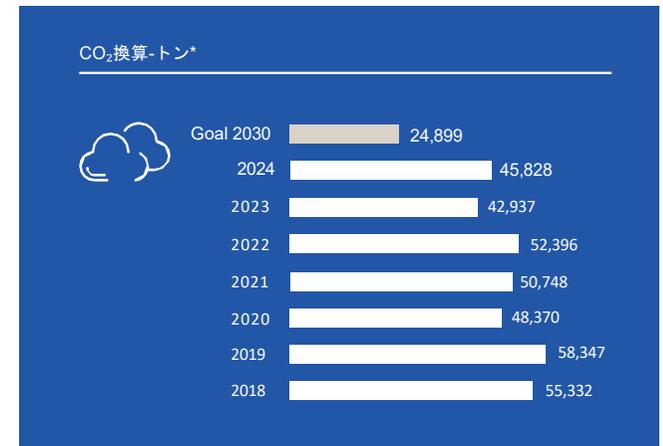
炭素会計の改善

製品環境フットプリントカテゴリールール（PEFCR）の手法に沿って、使用済み製品のカテゴリーの想定を改訂

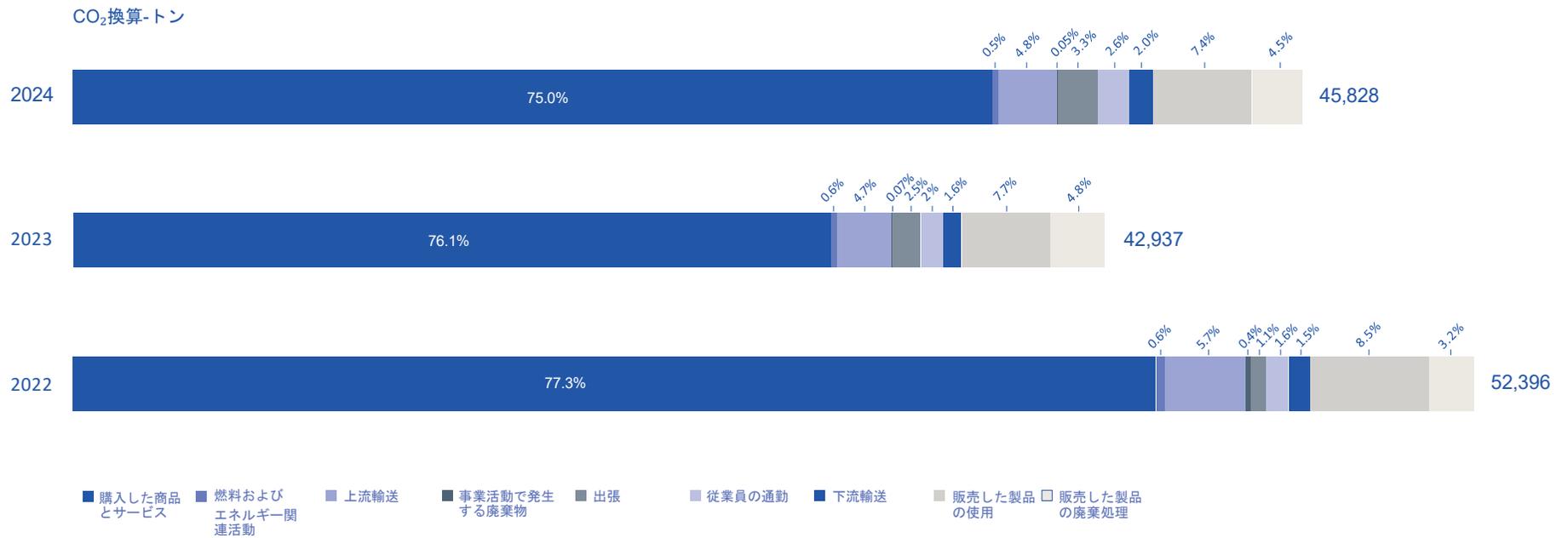
環境負荷の少ない素材

マムート ループインサレーションを発売

→ループインサレーションについて詳しくはこちら



スコープ3排出量の分類別内訳



残りを除去する：炭素除去



その名が示すように、炭素除去は私たちの気候変動戦略の重要な柱であり、「最善を尽くし、残りを除去する」というものです。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が、気候変動目標を達成するには二酸化炭素の削減だけでなく除去も必要であると表明したことから、二酸化炭素除去（CDR）という言葉がますます聞かれるようになりました。

炭素除去クレジットは、炭素回避クレジットやオフセットクレジット、そして炭素インセッティングと区別することが重要です。炭素除去クレジットは、組織がすでに排出したCO₂を大気中から除去するものです。炭素回避クレジットは、製品生産とは無関係にCO₂の排出を防ぐことを目的としています。炭素インセッティングとは、再生可能エネルギーや再生型農業といった自然由来のソリューションをブランドのバリューチェーンに導入することです。製品や事業活動から発生するCO₂排出量を削減し、真のネットゼロを達成するために、

当社は、より多くの炭素埋設イニシアチブを導入し、パートナーである Climeworks および Klimate と協力して炭素除去クレジットに投資しています。

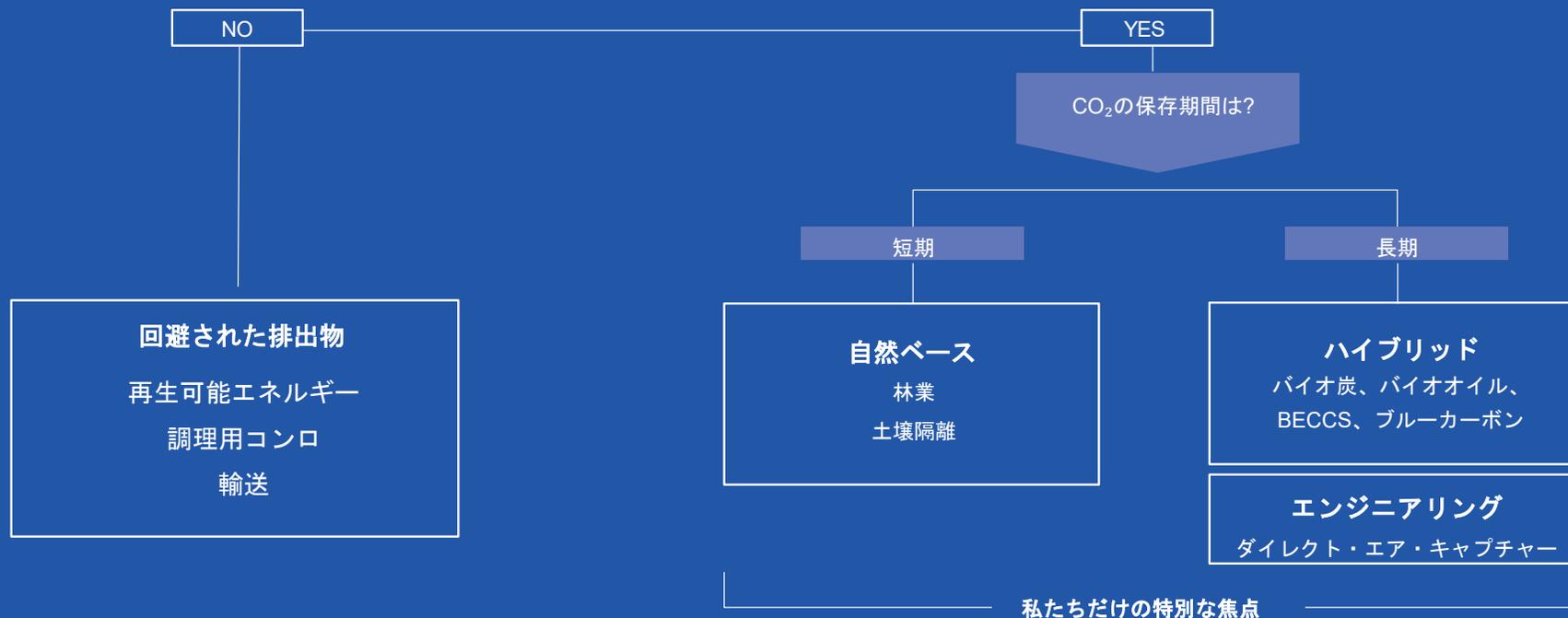
二酸化炭素除去クレジットの資格を得るには、二酸化炭素を様々な期間にわたり大気中から除去し、可能な限り永続的に大気中に貯留する必要があります。その方法は、自然由来のものから、完全に人工的に設計されたプロセス、そしてハイブリッドなアプローチまで多岐にわたります。様々なCDR技術には、価格、気候への影響、そしてより広範な生態系への相乗効果など、長所と短所があります。相乗効果には、土壌隔離（水分と栄養分をよりよく保持する健全な土壌の育成に役立つ）や、地域教育プログラムや農家の追加収入といった社会的利益が含まれます。

現在、私たちはパートナーである Climeworks と Klimate から様々な技術を購入しています。将来的には、高性能で長期的なクレジットの割合を増やすことを目指しています。

2024年春夏と2024/2025年秋冬に向けて、第2弾のトレイルランニングコレクションの製造と輸送中に発生するすべての排出量に対して、炭素除去クレジットを購入しました。



CO₂は大気中から除去されるのか？





従来の炭素回避を通じた
補償

ネットゼロに準じた
炭素除去



炭素除去パートナー： CLIMEWORKS & KLIMATE



私たちは、ClimeworksとKlimatという2つの炭素除去クレジットプロバイダーと戦略的パートナーシップを結んでいます。これらの契約により、私たちは立地、適用する除去技術、価格、その他の要因に基づいて、支援する炭素除去プロジェクトを柔軟に選択することができます。すべての選択肢は、厳格な方法論と品質によって裏付けられています。

スイスに拠点を置くClimeworksは、直接空気回収（DAC=ダイレクト・エア・キャプチャー）を専門としています。2021年には、アイスランドに世界初の商用DACプラントを建設し、年間最大4,000トンのCO₂を除去できます。Climeworksのカーボンクレジットは、そのアカウントビリティ、長期的な持続性、信頼性、そして追加性により、最高品質の一つとされています。創業当初は生産能力が限られているため、ClimeworksはMicrosoft、BCG、スイス・リー、マムートなど、少数ながらも著名なパートナーと提携しています。

コペンハーゲンに拠点を置くKlimatは、ポートフォリオアプローチを採用し、複数の異なる手法を提供するプロバイダーからカーボンクレジットを購入しています。すべての炭素除去は、環境、地域社会、そして生態系への相乗便益を考慮し、デューデリジェンスプロセスに従って個別に評価されます。Klimatは高度にデジタル化されており、プロジェクトごとにカーボンクレジットのポートフォリオをモニタリングし、公開することが可能です。これが当社の信頼性を支えています。

炭素除去戦略について地域社会を啓蒙するため、私たちは2024年にKlimatとCopenHillの炭素除去プロセスを特集した映画を公開しました。

→ [脱炭素トレイルランニングコレクションのためのKlimatとカーボンクレジットポートフォリオの詳細をご覧ください](#)



具体的な活動： コペンヒルでの炭素除去



アダム・オンドラ氏と共同で、当社のCO2除去と、革新的なパートナーが気候危機の影響に対抗するためにどのように新しいソリューションを生み出すかを特集した映画を公開しました。

この映画のコンセプトは、登山家でありマムートアスリートでもあるアダム・オンドラ氏が提唱したもので、彼は私たちのパートナーの仕事に光を当て、アウトドアやそれ以外の分野での問題解決についての対話を促進したいと考えていました。

この動画では、当社の炭素除去パートナーであるClimateが、Arc、Bofort、Carbonaide、Mammutといった必要なステークホルダーを結集し、炭素除去ソリューションの現状打破に取り組む様子をご覧ください。Arcはコペンハーゲンで廃棄物発電プラントを運営しており、世界最高峰の人工クライミングウォールとスキー場「コペンヒル」も併設しています。この施設は廃棄物から1日最大4トンのCO2を回収しています。

Bofortは回収したCO2をフィンランドへ輸送するためのISOタンクを提供し、そこでCarbonaideがコンクリートに注入することで、数千年にわたりCO2を固定化します。当社の気候変動対策の一環として、Mammutは初期投資者として、これらの多様なステークホルダー間の連携を可能にし、コペンヒルにおける炭素除去を実現しています。

コペンヒルのルート設定に貢献し、クライメイト共同CEOと共に人工マルチピッチ登攀を完登したアダムは、ネットゼロ達成を目指す取り組みと複雑なクライミングプロジェクトの完遂を比較しています。

どちらも、限界を押し広げ、私たちが正しい方向へと導く、大小さまざまな中間ステップを必要とします。

→ [Watch the film](#)





“炭素除去は当社の気候戦略の重要な柱であり、当社は Climeworks および Klimate と強力なパートナーシップを築いてきました。”

材料の重量と排出量



製品に使用される素材の環境への影響を理解することは、将来のデザイン決定の指針となります。

様々な素材を扱っていますが、ポリエステルやポリアミドなどのプラスチック製の生地に大きく依存しています。

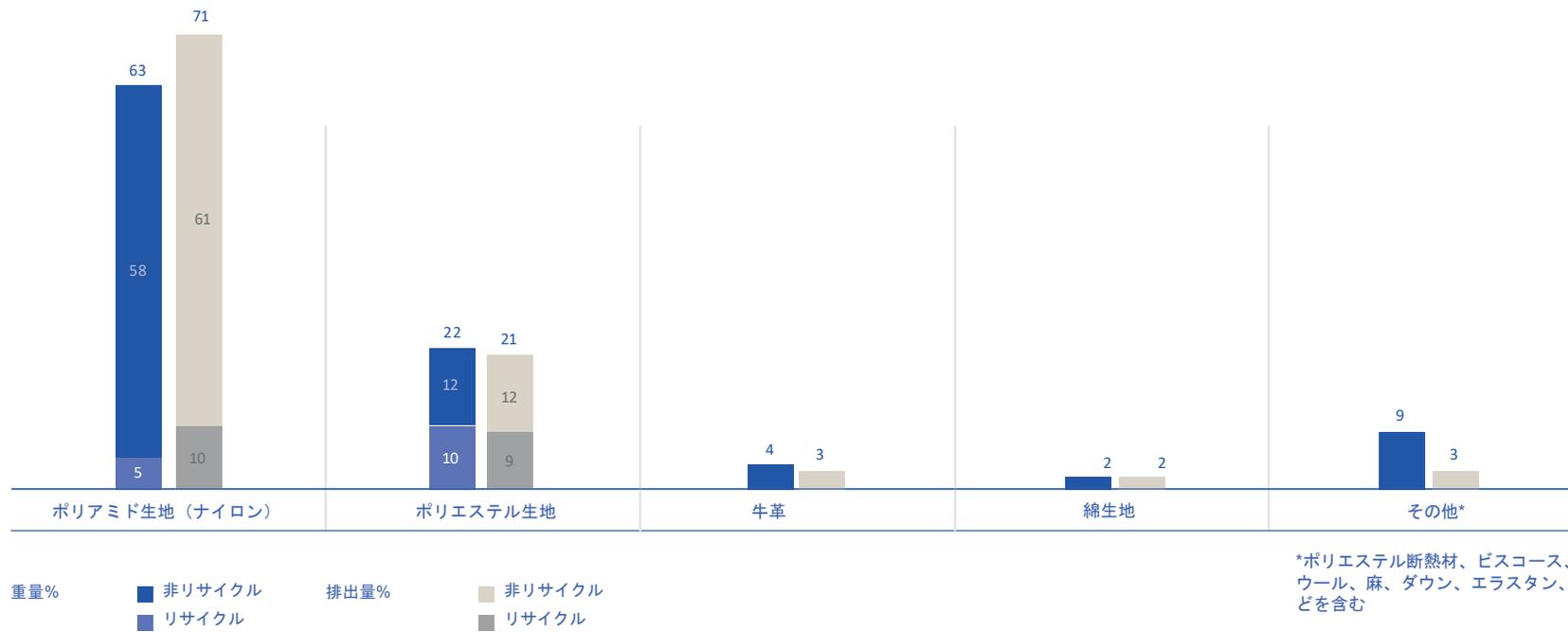
2024年に最も多く使用された素材はナイロン（ポリアミド）で、ポートフォリオの60%以上を占め、素材関連排出量の70%以上を占めました。今年の素材計算における使用量と排出量の急増は、ロープ製造用に購入したナイロンを含めたことによるもので、これは2023年の素材計算では考慮されていませんでした。

今年の図表は、リサイクルされた合成素材の割合を示しています。リサイクル素材のポートフォリオでは、主に機械的にリサイクルされたポリエステルとナイロンを使用しています。

「その他」カテゴリーの一部の素材もリサイクル可能ですが、例えばMammut LOOPINSULATIONなどは、現在のシステムでは、以下の素材計算ではこれを実証できません。牛革は、当社のポートフォリオの中で最も排出量の多い素材の一つですが、購入量が少なく、排出係数が見直されたため、2024年には大きな影響はありませんでした。2024年には、綿の使用量が使用量と排出量の両方で革を上回りました。

帰属に関する記述：化石燃料および温室効果ガスに関する推定値は、Higg MSI 3.9.1を用いて算出されました。これらの値はMammut Sports Group AGによって算出されたもので、第三者による検証は受けていません。重量による材料の計算は、材料消費に関する社内データに基づいています。

材料の重量と排出量



化学物質の管理



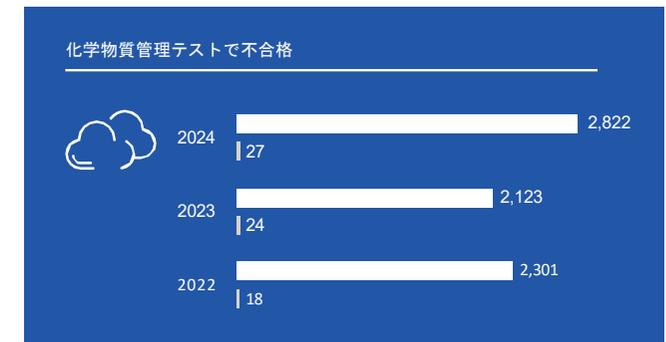
化学物質による悪影響を軽減し、消費者、サプライヤー、そして従業員の安全を確保するため、当社では素材と製品を検査し、社内の規制物質リスト（RSL）に記載されている法的に規制されている物質や有害な物質を追跡しています。

当社のRSLは多くの場合、法的要件を上回っており、bluesign® SYSTEM SUBSTANCES LIST（BSSL）に基づいています。このRSLは、当社のすべてのアパレル、フットウェア、ハードウェア製品に適用されています。

RSLは、製造に必要な材料、添加剤、および追加工程に影響します。試験はパートナーサプライヤーにも適用され、パートナーサプライヤーは、工程や材料の変更、またはRSLへの不適合について書面で確認する必要があります。不適合が発生した場合、協力関係を継続する前に更新された契約が締結されます。スポットテストは、リスク発生可能性評価に基づいて選択された個々の製品に対して実施されます。これらのテストは、製造国で認定された研究所によって、またはヨーロッパの倉庫に到着した時点で実施されます。テスト結果が不合格を示した場合、特定された問題に応じて対応計画が立てられます。製造工程の調整、材料の交換、または製品の再加工が行われる場合があります。

2024年に実施された2,822件の検査のうち、27件が社内基準を満たしませんでした。いずれも法定基準を超えるものではなく、それぞれについて対応計画が策定されました。

[Learn more about bluesign®](#)



表の数字は、1年につき対応する2つのシーズンのテストをカバーしており、2024年のテストは2024年春夏コレクションと2024/2025年秋冬コレクションをカバーすることを意味します。

BLUESIGN®

当社の化学物質管理システムパートナーである bluesign® は、労働者と消費者の健康と安全の向上、そして責任ある資源の使用を実現する、より安全で持続可能な繊維生産プロセスを専門としています。

当社の使用制限物質リストは、bluesign® SYSTEM SUBSTANCES LIST (BSSL) に基づいています。サプライチェーン全体にわたり、bluesign® SYSTEM PARTNERSであるすべてのサプライヤーは、製造使用制限物質リスト (MRSL) に相当する bluesign® SYSTEM BLACK LIMITS (BSBL) を遵守しています。

bluesign® PRODUCTは、少なくとも90%の bluesign® APPROVED テキスタイルと30%の bluesign® APPROVED ファスナーおよびトリム要素で構成されています。私たちの目標は、2025年までにコレクションの90%を認証済みの bluesign® PRODUCTと bluesign® APPROVED ファブリックにすることです。bluesign® が2024年にフットウェアを認証範囲に追加した際、サプライチェーン全体で認証が不足していること、リソースとコストの不足を理由に、フットウェアの bluesign® PRODUCT 認証を拡張しないことを決定しました。



今後も市場の動向とその進展を注視し、フットウェアにおける bluesign® PRODUCT 認証取得が当社にとって適切かどうか、またその時期はいつ頃になるかを判断していきます。当社は、100% bluesign® PRODUCT および bluesign® APPROVED ファブリックの採用を意図的に避けています。これは、当社の基準を満たしつつも、認証取得のための資金が不足しているスタートアップ企業や業界の新進気鋭の企業との協業を継続していくためです。

2024年春夏コレクションでは、アパレル製品の69%、寝袋の98%、ロープの100%、ハーネスの67%が bluesign® PRODUCT 認証を取得しました。2023年と比較すると、新たに5つの製品が認証されたため、認証ハーネスが36%増加しました。バックパックとバッグの83%は bluesign® APPROVED 認証のテキスタイルを使用しています。

BLUESIGN®製品の割合

	 Apparel	 Sleeping bags	 Ropes	 Harnesses	 Backpacks and bags*
Goal FW 2025 / 2026	90%	90%	100%	90%	90%
FW 2024 / 2025	62%	95%	100%	80%	91%
SS 2024	69%	98%	100%	67%	83%
FW 2023 / 2024	71%	93%	100%	31%	77%
SS 2023	62%	60%	100%	37%	82%
FW 2022 / 2023	66%	65%	100%	25%	76%
SS 2022	57%	58%	100%	31%	78%

* データはbluesign® APPROVED生地を対象としており、bluesign®製品を対象としているわけではありません。

HIGG施設環境モジュールFEM



Higg FEM は、バリューチェーン上のサプライヤーが自社の事業による環境影響を明確に把握するために実施する必要があります。この評価です。

サプライヤーのHigg FEMの結果は、マムートなどのブランドパートナーと共有され、バリューチェーンへの影響に関する一次情報を得ることができます。収集されたデータにより、私たちはカーボンフットプリントを測定し、サプライチェーンにおける脱炭素化をより効果的に推進する方法を理解することができます。国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の一環として、私たちは2025年までに自社の事業全体と一次サプライヤーからの石炭使用を段階的に廃止することを約束しています。サプライヤーのエネルギー源を把握するために、Higg FEMを使用しています。

2024年、当社の取引量の72%は、FEMアセスメントを提出した一次サプライヤーからのものであり、そのうち68%は検証済みのアセスメントを取得しました。サプライチェーンのマッピングに向けた取り組みの結果、二次サプライヤーの82%がFEMアセスメントを実施し、検証済みとなりました。

2024年、Higg FEMを完了した主要サプライヤー（Tier 1）からのエネルギー供給において、石炭由来のエネルギーが2.57%を占めていました。この割合を2025年までにゼロにすることを目指しています。

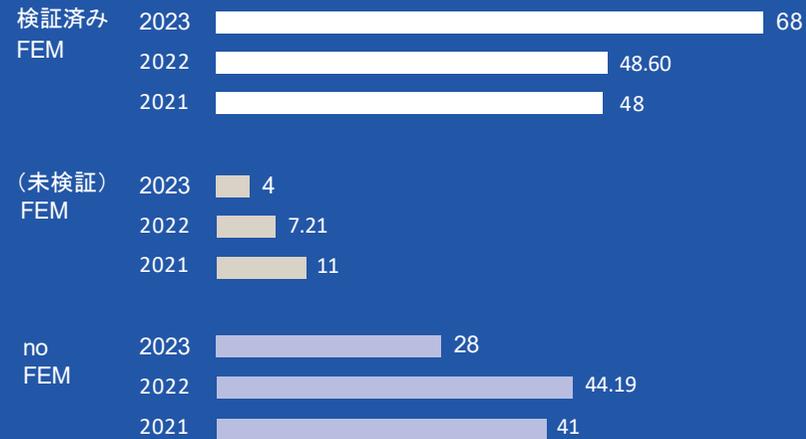
一次サプライヤーにおけるエネルギー源としての石炭

現在
2024 2.57 %

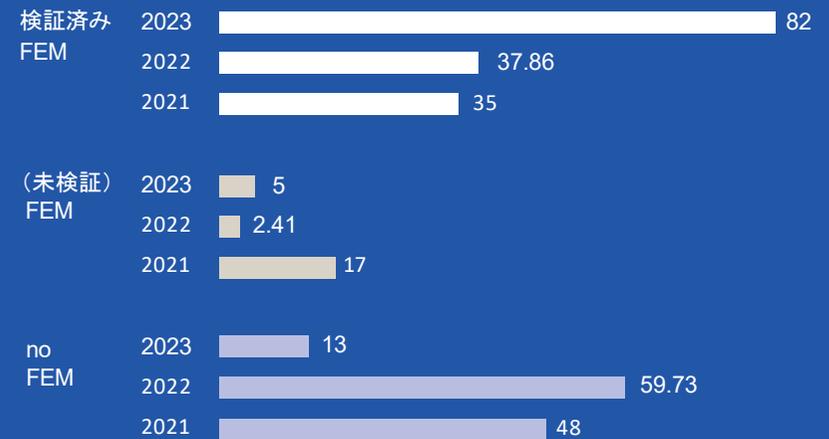
目標
2025 0 %

上記のデータは、Higg FEM が完成した当社の Tier 1 サプライヤーから提供されたものです。

製品メーカー数 (%)



生地サプライヤー (%)



上記のデータは2023年のものです。Higg FEM検証は翌年の12月末まで実施されます。ヘルメットなど、一部のハードグッズメーカーではFEMを利用できません。カバー率は取引量データに基づいており、サプライヤー施設数に基づくものではありません。

PFASフリー



過去数年間、このページのタイトルは「PFCフリー」でした。2024年には、アウトドア業界でより正確で認知度の高い用語である「PFASフリー」に変更しました。PFCは過フッ素化合物およびポリフッ素化合物を指し、その一部は強力な温室効果ガスです。一方、PFASは、環境への残留性と潜在的な健康リスクで知られる、より広範な人工化学物質のグループです。過フッ素化合物およびポリフッ素化合物（PFAS）は、アウトドアウェアに撥水性、防汚性、油汚れ防止性を与えるために使用されます。

歴史的に、山岳アクティビティ向けの製品ではPFASの使用が不可欠と考えられてきましたが、近年、人体と野生生物の両方への悪影響から、この点が見直されています。PFASは生分解性がなく、水や風によって容易に拡散します。そのため、エベレストのベースキャンプから人間の血液に至るまで、世界中でPFASが検出されています。世界中で、PFASの使用を監視し、最終的には禁止するための法的規制が議論され、導入されています。

当社はこれらすべての展開を支持しており、特にヨーロッパでのPFAS禁止を推進する環境団体であるChemSecに参加しています。

PFASの使用は、私たちにとって最大の懸念事項であり、課題の一つです。2016年、私たちは短期的な影響に基づく戦略に基づき、どの製品を優先的に選択するかを決定し、PFASフリーの代替品への切り替えを開始しました。2024年には、アパレルの94%、アクセサリーの97%、寝袋の100%、ロープの63%、ハーネスの100%、フットウェアの39%、バックパックとバッグの99%がPFASフリーになります。

私たちが依然として直面している課題の一つは、お客様がPFAS含有製品に慣れてしまった後に期待される基準を満たす代替製品を提供することです。PFAS製品の耐久性は、まさにこれらの化合物が容易に分解されないことに起因しています。従来の製品とは異なり、PFASフリーの耐久撥水加工（DWR）は、油汚れや洗濯への耐性がまだありません。

そのため、私たちは、衣類の洗濯と防水加工に関する消費者への啓蒙活動を強化していきます。今後のシーズンに向けて、すべての製品からPFASを段階的に廃止する明確なタイムラインを設定し、優れた性能を維持しながら適切な代替製品を見つけています。



PFASフリー製品の割合

							
	Apparel	Accessories	Sleeping bags	Packs & bags	Harnesses	Ropes	Footwear ³
Goal FW 2025 / 2026	100% ¹	100%	100%	100%	100%	100% until SS27 ²	100%
FW 2024 / 2025	88%	87%	100%	100%	100%	65%	70%
SS 2024	94%	97%	100%	99%	100%	63%	39%
FW 2023 / 2024	79%	81%	92%	100%	100%	65%	20%
SS 2023	85%	77%	81%	96%	100%	66%	23%
FW 2022 / 2023	79%	81%	90%	98%	97%	70%	18%
SS 2022	85%	88%	80%	94%	98%	69%	9%

1. スキースクール用アパレルにおけるPFASの使用は、2025/2026年秋冬シーズン以降、段階的に廃止されます。

2. 最高性能を誇るロープの一部は構造が複雑なため、ロープにおけるPFASの段階的廃止には時間がかかっています。安全基準の維持を保障するためには、さらなる研究開発が必要です。

3. フットウェアにおけるPFASの計算は進歩しています。2023/2024年秋冬シーズンまでは、PFASフリーの撥水加工(DWR)のみを計算していました。2024年春夏シーズン以降は、製品のすべての構成部品を対象に計算を行います。



“ 今後数シーズン、当社ではすべての製品における PFAS の段階的廃止の明確なタイムラインを定め、優れたパフォーマンスを維持しながら適切な代替品を見つけました。 ”

ソリューションダイ



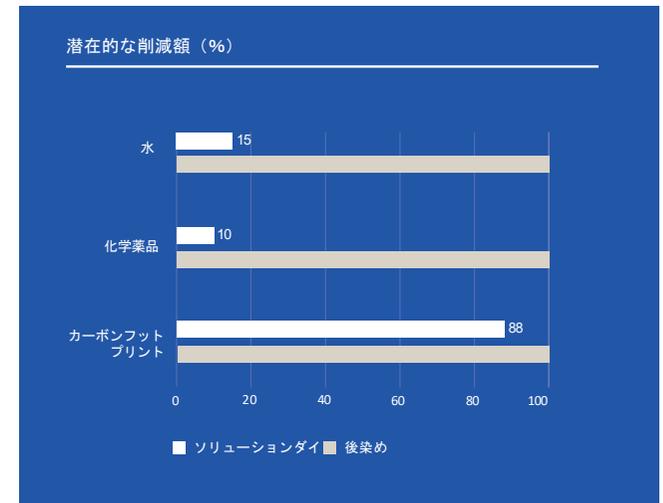
従来の後染め技法は、大量の水、化学薬品、そしてエネルギーを必要とする大型の染色槽を使用するため、資源を大量に消費し、結果として大量の二酸化炭素排出量と、化学物質で汚染された排水の発生につながる可能性があります。当社では、一部の合成繊維に溶液染色技法を導入し、水と化学薬品の使用量を大幅に削減し、CO2排出量を削減しています。

ソリューションダイイングは、色へのアプローチを根本的に変えた方法です。染色工程は、ポリエステルペレットの製造段階、つまり糸を製造する前の段階で行われ、布地を製造する段階では行われません。ペレットの製造時に、ポリエステルまたはポリアミドの顆粒に染料が添加されるため、色素は原料の中に閉じ込められ、その後、糸に紡がれ、編まれたり織物に織られたりします。つまり、色は織物に固有のものであり、従来の後染め布地よりも長く、より耐久性に優れた色彩特性を維持します。

ソリューションダイは新たな課題をもたらします。従来の技術に比べて最小受注量が多く、生産リードタイムも大幅に長くなります。そのため、今後は新たな開発プロセスと大量生産プロセスを導入する必要があります。

2023年には、完全にソリューションダイ生地で作られたベースレイヤーコレクション「Selun First Layers」を発売し、2024年も生産・販売を継続しました。

2024年、当社の生地の2.7%にソリューションダイ素材が使用されました。e.dye®から22,206kgの原着生地を購入しました。同社の第三者検証データに基づくと、同量の後染め生地と比較して、666,183リットルの水、11,032kgの化学薬品、33,315kgのCO2が削減されたと計算されます。



e.dye®の第三者検証データによると、従来の部分染め生地と比較して、溶液染め生地では製造時に水の消費量が最大85%、化学薬品の使用量が最大90%、CO2排出量が最大12%削減されます。

リサイクルポリエステル



環境フットプリントを削減するための解決策の一つとして、ポリエステルなどのバージンプラスチックの使用を減らすことが挙げられます。

推定によると、リサイクルポリエステル（rPET）はバージンポリエステルに比べて化石燃料の使用量を45%削減し、温室効果ガス排出量を26%削減します。統計的には優れた成果ですが、rPETのサプライチェーンは透明性が低く、不純物の増加により最終製品の品質が低下する可能性があります。これは、当社のすべての製品、特に安全装備に使用する素材の見直しにおいて、特有の課題と障壁をもたらします。

当社は1994年に初めてrPETを製品に取り入れ始めました。2024年春夏コレクションでは、アパレルの62%、寝袋の70%、バックパックとバッグの72%、ハーネスの33%に、少なくとも50%のrPETが使用されています。2025年までにすべてのポリエステル製品の95%にrPETを使用し、より回復力のある循環型サプライチェーンを構築することを目指しています。

ハードウェア部門の研究開発により、ハーネスに使用されるリサイクルポリエステルの量が増加しました。これは今年初めて報告するものです。



→ クライミングギアの改良点について詳しくはこちらをご覧ください

婦属に関する記述：化石燃料および温室効果ガスに関する推定値は、Higg MSI 3.7を使用して計算されました。これらの推定値はMammut Sports Group AGによって計算されており、第三者による検証は行われていません。

リサイクルポリエステル製品の割合

材料の割合

少なくとも75%がポリエステルで、繊維の少なくとも半分がリサイクルされているもの



Apparel



Sleeping bags



Packs & bags



Harnesses



Footwear*

Goal FW 2025 / 2026	95%	95%	95%	50%	50%
FW 2024 / 2025	81%	69%	69%	35%	21%
SS 2024	62%	70%	72%	33%	24%
FW 2023 / 2024	54%	32%	32%	~5%**	6%
SS 2023	48%	23%	57%	~5%**	13%
FW 2022 / 2023	43%	25%	25%	~5%**	4%
SS 2022	20%	22%	60%	~5%**	6%

* 2023年版責任レポートにおいて、フットウェアにおけるリサイクル素材の割合に関する報告に誤りがありました。正しい計算式は、ポリエステルに限らず、主要素材のいずれかに少なくとも30%のリサイクル素材を含む全製品の割合です。

** リサイクルポリエステルの含有量に関するデータは、割合を計算していないため正確ではありません。過去のシーズンでは、ハーネスに約5%のリサイクルポリエステルを使用していたと推定しています。

リサイクルナイロン（リサイクルポリアミド）

リサイクルナイロン=リサイクルポリアミド（RPA）を活用することで、バージンプラスチックの使用から脱却できます。推定によると、リサイクルナイロンはバージンプラスチックに比べて化石燃料の使用量34%、温室効果ガス排出量8%を削減します。

rPETとは異なり、リサイクルポリアミドのサプライチェーンはまだ初期段階にあります。rPETは食品業界のボトルを使用しますが、ポリアミド（ナイロン）は日用品ではそれほど広く使用されていないため、rPAは入手しにくい状況にあります。

当社では、ポストコンシューマーリサイクルポリアミドとプレコンシューマーリサイクルポリアミドの両方を取り扱っています。ポストコンシューマーリサイクルポリアミドは、プレコンシューマーリサイクルポリアミドとは異なり、既に利用されています。プレコンシューマーリサイクルポリアミドには、工場の端材や、最初の消費者に届く前に廃棄物となったその他の材料や製品が含まれます。

当社の技術仕様と品質要件を満たす細番手の糸が市場に不足しているため、リサイクルポリアミドの使用は依然として限られています。ハードウェア分野では、より太い糸を扱えるため、RPAの使用量は多くなっています。RPAに関する業界の進歩を注視しており、可能であればその使用を拡大し、より循環型経済の実現を目指していきます。

2024/2025年秋冬コレクションでは、アパレルの38%、寝袋の13%、バックパックとバッグの62%に、主要素材の少なくとも50%にRPAが使用されています。

→MAMMUT LOOPINSULATIONによるリサイクルポリアミドプロジェクトの詳細はこちら。

帰属に関する記述：化石燃料および温室効果ガスに関する推定値は、Higg MSI 3.7を使用して計算されました。これらの推定値はMammut Sports Group AGによって計算されており、第三者による検証は行われていません。



リサイクルナイロン製品の割合



材料の割合
 少なくとも75%がナイロンで、
 繊維の少なくとも半分がリサ
 イクルされているもの



Apparel



Sleeping bags



Packs & bags

Goal FW 2025 / 2026	30%	25%	60%
FW 2024 / 2025	38%	13%	62%
SS 2024	11%	0%	51%
FW 2023 / 2024	27%	13%	47%
SS 2023	6%	0%	33%
FW 2022 / 2023	17%	12%	41%
SS 2022	2%	0%	34%

クライミングギア



当社のクライミングおよび登山用製品の場合、環境への影響を減らすための独自の課題の1つは、同時に当社が遵守する安全基準を確実に維持することです。

ハードウェア部門は、2024年にクライミング製品において大きな進歩を遂げ、リサイクル素材を使用した複数の新製品を発売しました。また、bluesign® PRODUCT認証を取得した製品もいくつかあります。ヘルメットの一つに、適切なリサイクル素材を使用しました。これはヘルメット業界ではまだ珍しいことです。現在取り組んでいる課題の一つは、ハーネスの耐荷重ウェビングにリサイクル素材の代替品を調達することですが、今後のシーズンに向けて積極的に解決策を模索しています。

2024年に発売予定のリサイクル素材を使用したクライミング製品

- ・ **オートルートヘルメット (FW 24/25)** : 高地での冒険向けに設計されたこのヘルメットは、50%リサイクル発泡ポリスチレン (EPS) 製です。
- ・ **アエナジーハーネス (FW 24/25)** : 100%リサイクルリップストップ素材のアウトターと100%リサイクルエアメッシュ素材のインテリアを採用
- ・ **セnderライトハーネス (SS 24)** : アスリート向けに特別に設計されたこの超軽量ハーネスは、100%リサイクルリップストップ素材のアウトターと100%リサイクルエアメッシュ素材のインテリアを採用しています。

bluesign® PRODUCT認証ハーネス

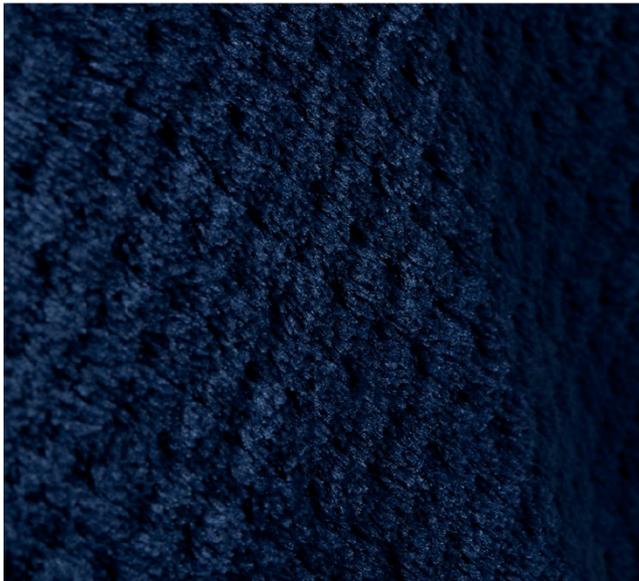
クライミング製品は、ポリアミド生地から金属製バックル、ポリスチレンフォームまで、様々な素材が使用されるため、特に複雑なサプライチェーンに直面しています。季節ごとの小さな改良が、時を経て大きな進歩につながります。

2024年には、当社のハーネスの複数のスタイルがbluesign® PRODUCT認証を取得し、特に化学物質の使用に関して、環境と消費者の安全性に関する高い基準を満たしていることが証明されました。複数の生地とトリムを使用するこれらのハーネスのbluesign® PRODUCT認証取得は、複雑なプロセスでした。認証されたハーネスは以下のとおりです。

- ・ **Togir 2.0 Men & Women Harness**
- ・ **4 Slide Harness**
- ・ **Ophir 4 Slide Harness**
- ・ **Ophir Fast Adjust & Women Harness**
- ・ **Ophir 3 Slide & Women Harness**

当社は今後も、パフォーマンスや安全性を犠牲にすることなく、より効果的な手法をクライミング製品に取り入れることに専念していきます。

マイクロファイバー



当社の高機能衣料品や商品は主に合成素材で作られているため、マイクロファイバーの脱落の影響を考慮する必要があります。

リサイクルポリエステルであっても、マイクロファイバーと呼ばれる微細なプラスチック片が衣類から剥がれて水路に流入する可能性があります。その極めて小さなサイズは回収を困難にし、また、本来のデザインと意図の一部である耐久性により、非常に持続性の高いものとなっています。

この問題に対処するため、当社は2017年からマイクロファイバーコンソーシアム（TMC）に加盟しています。同団体の目標は、テキスタイルデザインや水ろ過システムの改善といったソリューションを通じて、マイクロファイバーの脱落とその影響を軽減することです。コンソーシアムは最新の学術研究と商業的なテキスタイルサプライチェーンの生産の間にあるギャップを埋め、2021年にはマイクロファイバーロードマップとマイクロファイバー2030コミットメントを発表しました。

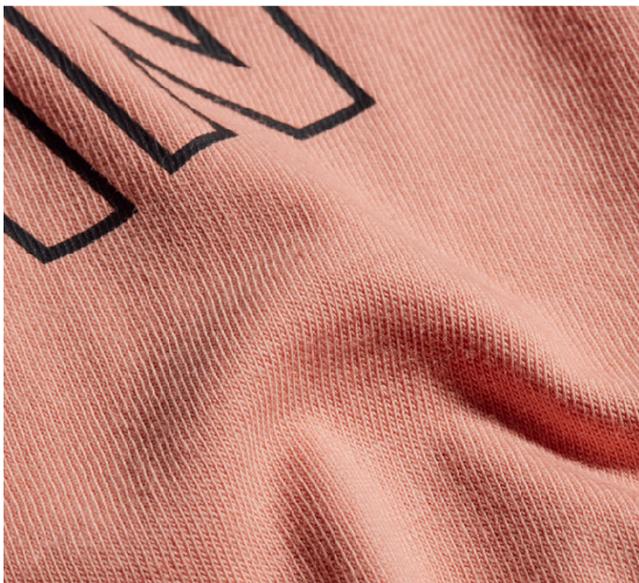
メンバーとして、当社は最先端技術が市場に投入された際には、その導入、業界交流への参加、そしてTMCの試験プロトコルの適用に尽力しています。

2022年以降の素材開発および承認プロセスの一環として、当社は開発中の生地の一部をTMCのテストプロトコルとデータベースに提出し続けています。

→ [マイクロファイバーコンソーシアムについて詳しくはこちら](#)



オーガニックコットン

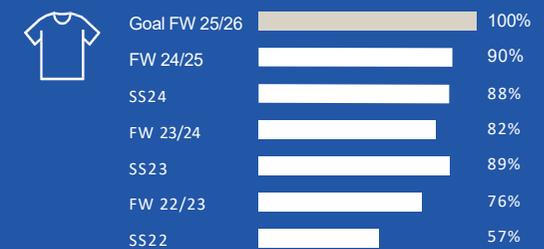


オーガニックコットンは、合成肥料、殺虫剤、除草剤、遺伝子組み換え作物（GMO）の種子を使用せずに栽培され、適切な土壌管理を促進し、生物多様性を育みます。綿花は当社の主要繊維製品ではありませんが、2009年からオーガニックコットンの使用を開始し、2025年までに100%オーガニックコットンを使用することを目標としています。この移行における最大の課題は、入手性と供給不足です。

私たちは、入手可能な限り、世界オーガニック繊維基準（GOTS）認証コットンを調達において優先的に使用しています。GOTSは、オーガニック貿易協会（OTA、米国）、国際自然繊維工業連盟（IVN、ドイツ）、ソイル・アソシエーション（英国）、日本オーガニックコットン協会（JOCA、日本）によって設立されました。GOTSは、オーガニック繊維の個々の加工基準を統一し、国際的な認知度を確保する必要性から生まれました。原材料の収穫から環境および社会に配慮した製造まで、GOTS認証を受けた繊維は、ブランドと消費者に確かな安心感を提供します。

2024年春夏には、当社のアパレルコレクションに使用されているコットンの88%がオーガニックで、その100%がGOTS認証を受けています。

当社のアパレル製品におけるオーガニックコットンの割合





“ 環境への影響を減らすための課題の1つは、環境への影響を少なくしながら、これまで通りの安全基準を満たす製品を作ることが難しい点です。 ”

生物多様性



生物多様性は地球上の生命の基盤です。気候危機、そして搾取的で劣化的なビジネスや農業慣行によって、私たちの生態系はますます脅威にさらされており、さらなる保護が必要です。

2006年以来、私たちはヨーロッパ野外保全協会（EOCA）の会員です。

EOCAは、アウトドアレジャー業界の企業と提携して活動する環境保護団体です。会員費やその他の活動資金によって、EOCAとその会員は世界中の保全、保護、再生プロジェクトに資金提供と支援を行い、野生生物と野生地域を保護しています。2024年には、EOCAは35万ユーロ以上を保全活動に拠出し、12カ国で14の新規プロジェクトを支援しました。

2024年にEOCAから資金提供を受けたプロジェクトの一つは、サミット財団が運営する「クリーンアップツアー-スイス&イタリア」です。この非営利団体の使命は、人気の高い山岳地帯における人間の活動による環境への影響を軽減することです。

この非営利団体の使命は、人気の高い山岳地帯における人間の活動による環境への影響を軽減することです。

サミット財団は2024年と2025年にかけて、スイスとイタリアで90の清掃イベントを企画・開催し、アルプスの環境から約9.9トンのゴミを除去しました。



輸送と貨物



上流および下流の物流は、当社の環境負荷全体の6.5%を占めており、これは相当な割合です。当社の貨物輸送の大部分は海上輸送で、アジアおよびヨーロッパ発着の貨物はトラック輸送で運ばれていますが、航空輸送にも依存しており、これが輸送に伴う排出量全体に占める割合は不釣り合いに高くなっています。

2024年、世界のサプライチェーンは依然として不安定な状況が続きました。ウクライナにおけるロシアの戦争継続、インフレリスク、そして世界的な需要の減速により、不確実性は依然として高いままでした。中東紛争の影響で、2022年末にはスエズ運河が封鎖され、2023年初頭には欧州への配送リードタイムが延長されました。紅海地域では、武装勢力による船舶への攻撃が頻発しており、航路変更や燃料費の高騰といった事態が発生しているため、引き続き注視していく必要があります。ストライキや人手不足も続き、物流と配送の効率的な管理はより複雑化しています。

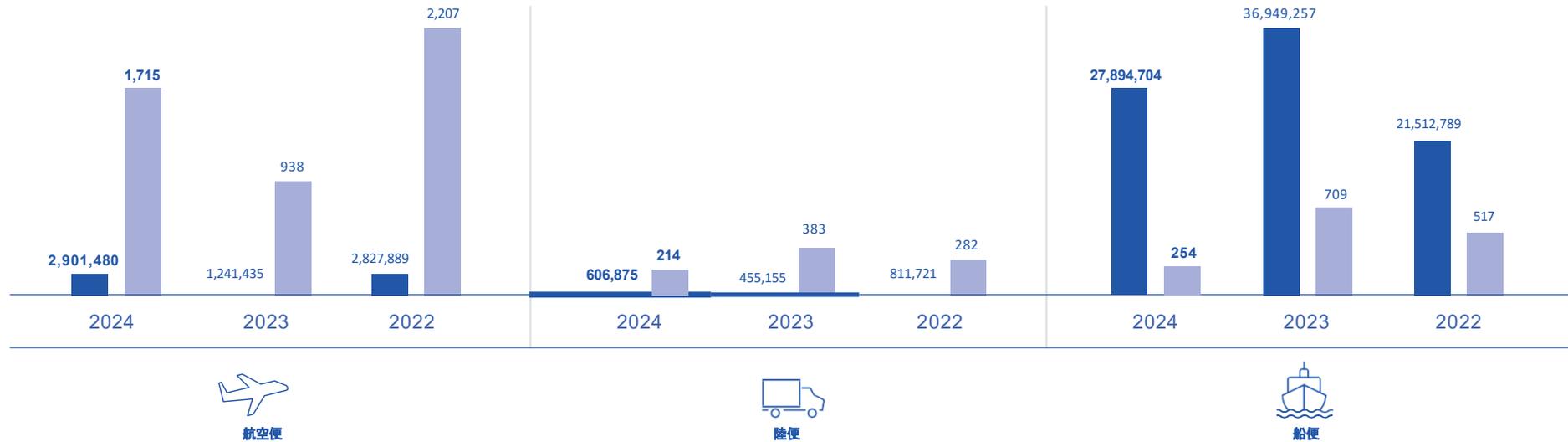
こうした課題にもかかわらず、バリューチェーン全体にわたって、サプライチェーンのリスク監視を継続し、レジリエンスの構築に努めました。

不安定で長期化するリードタイムや、サプライヤーおよび貨物運送業者のキャパシティ変動を考慮し、海上輸送と航空輸送を組み合わせた、コスト、期間、排出量への影響を合理的にバランスさせた輸送モードである海上航空輸送を継続しました。当社の目標は、より正確な予測、小売業者およびサプライヤーとの共同計画、および将来のキャパシティ予約によって、航空輸送を可能な限り回避することです。しかしながら、不確実な世界においては、航空輸送は時間どおりの供給を確保し、将来の過剰在庫を回避する適切な方法であり、サプライチェーンのレジリエンスと効率性を維持します。当社の成功の重要な要因は、主要な輸送ルートにおいて緊急時に相互にバックアップすることを約束するデュアルパートナー戦略です。これにより、継続的なキャパシティの可用性、コストベンチマーク、および高いサービスレベルが確保されます。より少ないフォワーダーと連携することで、利用可能な出荷能力が低い場合でも予約プロセスが迅速になります。これは、当社と緊密に連携しているフォワーダーが当社のニーズと、その結果として必要なプロセスをよりよく理解しているためです。

2025年も、世界のサプライチェーンは地政学的緊張の影響を受け続けると予想されます。さらに、米国の関税規制の潜在的な変更は、私たちの貿易関係に影響を及ぼす可能性があります。したがって、潜在的な貿易障壁に備え、サプライチェーン戦略を積極的に適応させることが不可欠です。輸送ルートの多様化に加え、規制変更の監視と適応を強化するための技術への投資は、サプライチェーンの効率性とレジリエンスを維持するために不可欠です。

2024年には、航空輸送からの排出量は83%増加しましたが、海上輸送と道路輸送からの排出量はそれぞれ51%と44%減少しました。海上輸送と道路輸送業者からの排出原単位は大幅に改善しました。全体として、上流輸送からの排出量は、ビジネスニーズによる航空輸送への移行により8%増加しました。

物流と輸送における排出量



2024: 2,182 (CO₂換算-トン)
 2023: 2,030 (CO₂換算-トン)
 2022: 3,006 (CO₂換算-トン)

■ tkm = トンキロメートルは、1メートルトンの貨物を1キロメートルの距離に輸送することを表す計測単位です。

■ トンCO₂当量 = 二酸化炭素換算トン 温室効果ガス排出の影響を測定します。

梱包



ビニール袋や段ボール箱は、商品が生産された工場から港、物流センター、店舗まで輸送される際に、汚れや湿気、損傷から商品を守ります。

プラスチックや段ボールの梱包材自体にも環境への影響はありますが、消費者が初めて使用する前の輸送中に取り返しのつかないほど損傷した商品の環境負荷は、さらに大きくなります。私たちは、可能な限り梱包材による環境負荷の削減を目指しています。

段ボールとプラスチック包装

当社の段ボールはすべて100%リサイクル素材から作られており、完全にリサイクル可能です。過剰生産と廃棄物を削減するため、2022年には印刷包装を簡素化し、個包装のサイズを縮小し、可能な限りプラスチックとプラスチックフィルムを完全に廃止しました。その後、各製品の具体的な社会的・環境的特性について消費者にお知らせするための「責任あるハングタグ」をデザインしました。

製品の環境負荷軽減策を説明するために新しいハングタグを作成するのは皮肉なことです。消費者が十分な情報に基づいた購入決定を下せるようにすることが目的です。さらに、ハングタグのサイズを縮小することで、環境負荷全体を削減しました。

ヨーロピアン・アウトドア・グループの使い捨てプラスチック・プロジェクト

EOGを通じて、30以上のブランドや小売業者と協力し、使い捨てプラスチック包装の責任を果たすよう取り組んでいます。お客様の責任は重要ですが、それだけに頼ってはいけません。高いリサイクル率は保証されません。使い捨てプラスチック・プロジェクトのビジョンは、お客様を廃棄物問題から解放し、業界関係者と共にこれらのプラスチックの廃棄を管理することです。

このソリューションをテストするための最初のステップは、使い捨てバッグへのシーラントと印刷の使用を中止することでした。インクや接着剤の残留物がなくなるため、プラスチックのリサイクルはより効率的になります。

業界として、事前に選別された均質なプラスチックの流れを作り、ヨーロッパ中の信頼できる特定のリサイクル業者に分配することができます。この材料は、最終的に埋め立て地や焼却炉に捨てられるのではなく、新しい製品に再利用することができます。

2021年以降、商品を店舗やアウトレットへ出荷する前に、ポリ袋を取り除いています。ポリ袋は地元のリサイクル業者に送られ、高品質の再粒状化物に加工されます。このプロセスを拡大していく予定ですが、袋を物理的に取り除く方法については、物流面とリソース面での課題が依然として残っています。



SINGLE
USE
PLASTICS
PROJECT

社内オペレーション



電力使用量

私たちのスイス本社は水力発電で稼働しており、ドイツの店舗と倉庫も再生可能エネルギー電力に依存しています。2022年には、ドイツの子会社と倉庫に年間100万kWh以上の発電能力を持つ太陽光パネルを設置しました。これにより、これらの建物の電力自給率は推定45%に達します。発電された電力の60%は余剰となり、電力系統に供給されず。設置は2023年に完了しましたが、その後、困難や遅延が発生しています。2025年第3四半期までに電力系統への供給を開始できる見込みです。

通勤

2023年、当社の企業責任チームは、従業員が自宅から世界各地のオフィスまで毎日通勤時に排出するCO2排出量を測定するため、グローバル通勤調査を開始しました。2025年初頭には、最新の通勤パターンのデータを用いて、2024年のCO2排出量の算出をサポートするため、通勤データに関する新たな調査を実施しました。調査参加者の40%は、公共交通機関、徒歩、自転車、電動自転車など、環境負荷の低い交通手段を主に利用して通勤しています。日本国内の従業員は全員、環境負荷の低い交通手段を利用して通勤しています。

電力調達

2024年、スイスの企業責任チームは、グローバル・エクスチェンジ・プログラムの一環として、米国から従業員を受け入れました。Scope 2排出量への取り組みと、北米子会社の電力源のマッピングが目的でした。チームは利用可能な再生可能エネルギー証書を調査し、今後数年間で再生可能エネルギー電力への移行に向けた対策を策定しました。2025年以降、ドイツに次いで最大の規模を誇る日本と中国の子会社において、再生可能エネルギー証書を通じて再生可能エネルギー電力への移行を目指します。

太陽光パネル

ドイツで認可申請中



従業員の交通手段に関する調査

世界規模で実施



電源マッピング

北米子会社における電力供給源の調査を実施



スライド 93

- HN1** コーポレート・レスポンスビリティ
Heizo Nakahama, 2025-07-29T08:00:07.456
- HN2** コーポレート・レスポンスビリティ
Heizo Nakahama, 2025-07-29T08:00:16.583

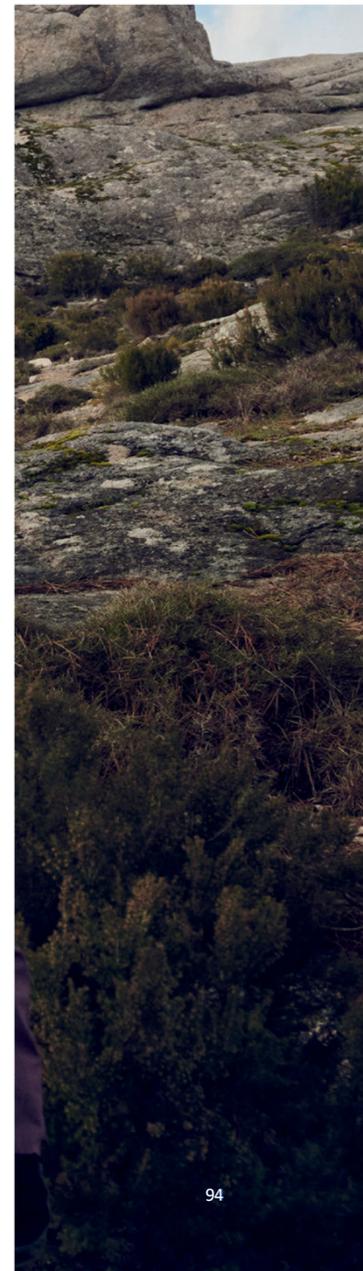


エシカルな 労働環境

衣料品・雑貨業界における安全でない労働環境と貧困賃金は、社会正義の根源であり、工場働く女性に深刻な影響を与えています。

現地の法律や慣習が人権侵害のリスクを高める可能性がある場合、厳格なデューデリジェンスのアプローチ、フェアウェア財団などの独立監査機関との提携、そして業界関係者との共同監査を通じて、これらの課題への対応における説明責任を強化しています。サプライチェーンにおける労働環境を体系的に改善するために、サプライヤーとの長期的な関係も重視しています。これにより、季節的なコレクションの変動にも関わらず、労働者の需要をより均衡させることができます。

様々なブランドの商品を生産する一次サプライヤーには、11万人以上の従業員が働いています。当社の購買額に基づくと、約5,500人が当社の生産に従事しており、そのうち78%が女性です。



状況に応じた生産



生産における社会的リスク



季節ごとの残業

アパレル業界では夏物と冬物のコレクションを制作するため、世界中の小売業者はコレクションアイテムを同時に受け取ることを期待しています。小売業者は展示会の後、つまりシーズンの店頭販売開始の6ヶ月前に発注を行います。そのため、店頭販売に間に合うように生地を急いで発注し、必要な数量の衣服を生産することになります。

最低賃金

ほとんどの国では法定最低賃金が定められており、第三者監査や賃金調査を参照することで、主要サプライヤーが従業員に必要な最低賃金を支払っていることを確信できます。しかしながら、小規模サプライヤーにおいては問題が発生しています。これは通常、出来高払い、臨時雇用者、そして一時解雇時の平均賃金に関連しています。祝日や残業手当の支払いは、法律を厳格に遵守するのではなく、現地の慣習に従うことが多いです。

組合文化と規制

工場から供給を受ける際、当社はすべての労働者が組合に加入し、不利益を被ることなく団体交渉に参加できることを求めています。しかしながら、一部の国では、現地の慣習や法律により、組合活動やその他の形態の労働者代表が制限される場合があります。当社のパートナーであるフェアウェア社は、各工場監査において組合の状況を評価し、国別報告書で包括的な問題点を報告しています。

労働安全衛生

労働安全衛生（OHS）に関する問題は、監査や工場訪問の際にしばしば特定されます。現地の品質管理スペシャリストに加え、当社のチームメンバーは工場を頻繁に訪問し、作業プロセス、環境、個人用保護具の使用におけるOHS違反がないか定期的に確認する体制を整えています。OHS違反の再発を防ぐには、経営陣、監督者、そして従業員へのOHS研修が不可欠です。

状況に応じた生産



生産における予防措置



リードタイムの延長

残業時間の問題に対処するため、各サプライヤーと製品の種類ごとにリードタイムについて合意し、生産サイクルの早い段階で詳細な予測情報を共有しています。

専門の検査員

フェア・ウェア・ファウンデーションのパートナーが監査を実施する際には、必ず文書検査員が同席します。この検査員は、工場の契約書、研修証明書、休暇記録を審査する責任を負います。また、工場の手順が現地の法律および国際労働機関（ILO）の基準に準拠しているかどうかを確認します。

監査における連携

複数のブランドが同じサプライヤーや同じ地域で事業を展開しているケースが多くあります。業界全体の連携と説明責任を強化し、効率性と効果を高めるために、ブランドは共同で工場監査を実施することができます。これにより、要件の調整、重複の削減、是正措置計画のより徹底した実施が可能になります。

長期契約

現状を変えるには、強固な関係が不可欠です。アウトドア業界の価値観を遵守するパートナーと長期供給契約を結ぶことで、業界全体で高い社会的・人権基準を達成し、維持することができます。



フェアウェア財団



Fair Wear Foundation は、衣料品およびソフトグッズ業界の労働条件の改善に取り組む、複数の利害関係者によるイニシアチブです。

フェアウェアは、独立した検証機関であり、研修のファシリテーターとして、会員企業の生産慣行とその一次縫製サプライヤーおよび下請け業者を監査し、ブランド、工場、そして労働者間の交流を促進しています。また、フェアウェアは工場労働者と経営陣向けの研修も提供しており、数十年にわたり業界に根付いてきた力関係の不均衡を是正しています。一部の国では、ハラスメントや採用時の年齢確認といった追加研修モジュールも含まれています。

当社およびサプライヤーは、国際労働機関（ILO）の条約および世界人権宣言に基づくフェアウェアの労働慣行規範（CoLP）を遵守しなければなりません。労働者にとって、これは雇用の自由選択、結社の自由および団体交渉権、雇用における差別の禁止、児童労働の搾取の禁止、生活賃金、適正な労働時間、安全で健康的な労働条件、そして法的に拘束力のある雇用関係を意味します。違反が発見された場合、当社は是正措置計画を作成し、フェアウェアのブランドパフォーマンスチェック（BPC）においてこれを考慮に入れます。

ブランドパフォーマンスチェック

ブランドパフォーマンスチェックは毎年実施され、当社の手順、活動、報告を監査します。結果は当社およびフェアウェアのウェブサイトで公開されます。業界連携を促進するための当社の取り組みがフェアウェアに認められたことを誇りに思います。当社は、他のブランドに対し、共通の施設での共同監査の実施を促し、これらの大きな課題に共同で取り組むよう促してきました。当社は、繊維サプライチェーンの少なくとも95%を監視することを目指しており、多くの場合、他のブランドと共同で監査を実施しています。ブランドパフォーマンスチェックの結果は、「リーダー」「良好」「改善が必要」に分類されます。



欧州で施行されている新しい法律に合わせ、ブランドパフォーマンスチェックの基準を更新しました。これは、経済協力開発機構（OECD）が発行する「責任ある企業行動のためのデューデリジェンス・ガイダンス」に基づいています。2024年のランキングは「良好」を維持しました。「リーダー」の地位を取り戻すため、OECDガイダンスに基づき、デューデリジェンスをリスクベースのアプローチに調整しています。

- 責任ある企業行動についてさらに詳しく
- デューデリジェンスアプローチの詳細

FAIR
WEAR





フェアウェアの労働慣行規範を構成する8つの要素



雇用は自由に行える



結社の自由と団体交渉の権利



雇用における差別の禁止



児童労働の搾取をしない



生活賃金の支払い



適正な労働時間



安全かつ健康的な労働条件



法的拘束力のある雇用関係

デューデリジェンス アプローチ



従業員とサプライヤーの従業員に対して最高の倫理基準を維持するため、フェアウェアの人権デューデリジェンスポリシーを遵守しています。フェアウェアのブランドパフォーマンスチェックに加え、当社のチームは工場訪問を行い、倫理的な生産体制を確認しています。これらの監査は、縫製製品の2%以上を占めるサプライヤーを優先的に実施しています。

当社の繊維およびソフトグッズ生産に関わるすべての衣料品メーカーは、フェアウェアの労働慣行規範の遵守を約束しています。労働者への情報提供とサポートを確実に行うため、サプライヤーには現地語で書かれたポスターを提供し、苦情を現地で、またはフェアウェアに直接申し立てる方法を説明しています。これらのポスターは工場内に明確に掲示する必要があります。定期的なサプライヤー訪問の際に、当社の購買および品質管理担当者が、この状況を確認します。違反があった場合、個人は工場管理者に苦情を申し立てるか、またはフェアウェアに直接 complaints@fairwear.org にメールを送信して苦情を申し立てることができます。

より安全だと感じる場合は、匿名で苦情を申し立てることができます。苦情を受けた場合、または監査または訪問中に問題が特定された場合は、是正措置計画（CAP）を作成し、問題点と対処方法を概説します。

監査パートナーと直接的な是正

直接的な改善への投資を増やすため、2023年には長年のパートナーシップを築いてきたサプライヤーの工場において、より幅広い第三者監査を受け入れることを決定しました。

以前は、Fair Wear、Sumations Sustainable Management Solutions、Social Accountability International SA8000 Standard（SAI SA8000）からの監査のみを受け入れていました。現在は、Social & Labor Convergence Program（SLCP）、The Higg Facility Social Labour Module（FSLM）、Sedex Members Ethical Trade Audit（SMETA）、amfori Business Social Compliance Initiative（amfori BSCI）からの監査も受け入れていました。

監査パートナーを増やすことで料金を最適化し、現在割り当てられている予算を、繊維・衣料産業における安全衛生に関する国際協定（旧称：バングラデシュ協定）や、2024年に加盟したバングラデシュの労働災害対策パイロット（EISパイロット）といった直接的な改善に充てることができます。

苦情

15年間で、複数のテーマにまたがる苦情を含む43件の個別苦情を処理し、合計72件の課題に取り組みました。苦情の内訳は、残業代と賃金（25件）、適正な労働時間（20件）、不当解雇（7件）、安全で健康的な職場環境（7件）、病気休暇と保険問題（8件）、労働組合紛争（2件）、労働者差別（2件）、未成年労働者（1件）でした。不当解雇と保険問題に関する苦情のうち2件は認められず、雇用主の権利が認められました。フェアウェアは、法的規制により中国からの苦情を除き、すべての苦情をウェブサイトで公開しています。

2024年には、再発する問題の改善に加え、デューデリ
ジェンスプロセスをジェンダーの視点を取り入れ、結
社の自由の促進をさらに重視することに重点を置きま
した。

これには、女性の権利に焦点を当てたドイツのNGOで
あるFEMNETとのスキルアップに関する協議、ジェン
ダー問題に取り組むフェアウェアのメンバーグループ
への参加、労働組合や労働者委員会との対話、そして
サプライヤーとの団体交渉協定に関する対話促進など
が含まれます。ショッフェル社と共同で、エチオピア
で労働者教育プログラムを立ち上げたほか、ベトナム
の工場における生活賃金の確立を目指すSTS2030のワー
キンググループ「United for Fair Wages（公正賃金のた
めの団結）」にも参加しました。

→ Fair Wearの調達先国ごとの具体的な調査結果の詳細につい
ては、国別レポートをご覧ください。



Bangladeshにおけるデューデリジェンス



Bangladeshでの購買額の増加に対応して、マムートは2023年に同国でのデューデリジェンスを強化し、繊維産業の変革を推進する2つの組織に加盟しました。

国際協定

当社は2023年に Bangladeshにおける国際協定および国際安全プログラム（CSSP）に加盟しました。より安全で健全な産業の構築を目指して設計された Bangladeshの火災および建物の安全に関する協定は、ブランド、小売業者、労働組合の間で締結された、独立した法的拘束力のある世界的な枠組み協定として2013年に制定されました。

2021年、繊維・衣料産業における健康と安全に関する新たな国際協定が発足しました。 Bangladeshの1,500以上の工場とパキスタンの500以上の工場に雇用されている220万人の労働者を対象とし、署名者は国際協定プログラム実施国において自社向けに生産を行っているすべての工場の情報を開示することを約束しています。

さらに、署名者は、リストに記載されているすべての工場が検査、是正、および安全研修プログラムに参加することを保証する必要があります。参加ブランドとして、私たちは工場が是正措置を財政的に実行可能であることを確認し、国際協定プログラムの運営費用に貢献できるように支援しなければなりません。

各工場は、建物構造の安全性、電気回路、火災安全、ボイラー室の安全性について毎年検査を受けています。既製服サステナビリティ協議会（RSC）が監査を実施し、必要な安全性向上策が実施されていることを確認しています。

労働災害補償制度パイロット

2024年には、 BangladeshにおけるILO（国際労働機関）とGIZ（ドイツ国際協力公社）が運営する労働災害補償制度パイロット（EISパイロット）にも参加しました。このプログラムは、400万人の一次労働者を対象とし、労働災害により永久的な障害を負った、または死亡した人およびその扶養家族に補償を提供します。各ブランドへの拠出額は、購入額の0.019%に設定されています。この制度は、 Bangladesh政府が雇用主の資金で独自の国家制度を策定する2027年まで継続されます。

International
ACCORD
for Health and Safety in the Textile and Garment Industry

HIGG施設の社会・労働モジュール（FSLM）

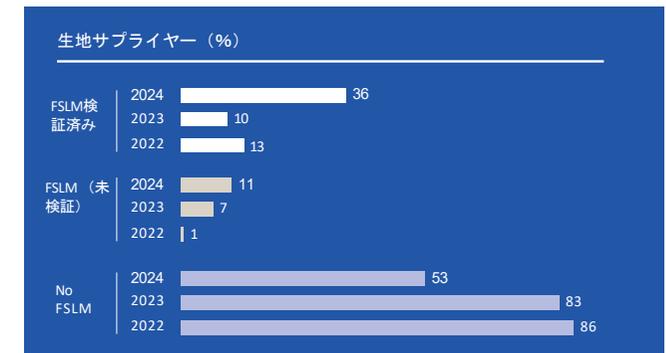
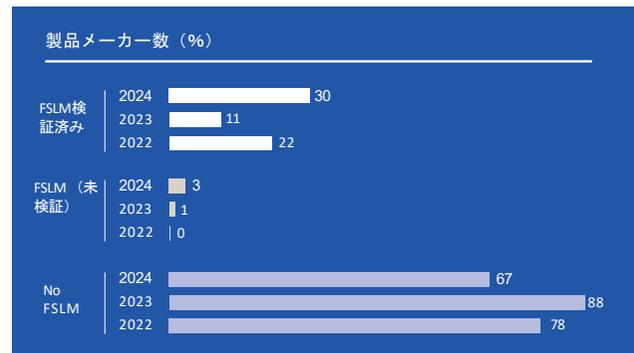


Higg Facility Social Labour Module（FSLM）は個々のサプライヤーによって実施され、賃金、労働時間、健康と安全、従業員の待遇といったトピックを検証しながら、製造業の社会的影響を評価します。

この監査ツールは、フェアウェアシステムの対象外であるティア2の生地および部品サプライヤーへの説明責任を維持する上で特に重要です。しかしながら、FSLMとフェアウェア、そしてTier 1とTier 2のサプライヤー間の二重監査を容易にベンチマークし、削減するために、すべてのパートナーにFSLMを実施し、その結果を独立機関で検証することを強く推奨しています。FSLMの対象となるサプライヤーはまだ少ないため、今後数年間でこれを拡大したいと考えています。

検証済みのFSLMデータに基づき、FSLM合計スコアを比較すると、Tier 2の材料サプライヤー施設のパフォーマンスは、Tier 1の縫製および最終製品組立サプライヤーと比較して低いことが判明しました。

FSLM合計スコアの中央値は、Tier 1が68、Tier 2が63でした。



FSLMは、ヘルメットなど特定の製品については、一部のハードグズメーカーではご利用いただけません。カバー率は、サプライヤー施設の数ではなく、取引量データに基づいています。

ハードグッズ監査アライアンス (耐久消費財のための監査連合)



欧州アウトドアグループハードグッズ監査アライアンス (EOG AAHG) は、フェアウェアと同じ原則を金属製および電子ハードグッズに適用するために、2019年にマムートと Salewa (オーバーアルプ) によって設立されました。

EOGワーキンググループは現在、Black Diamond、Edelrid、Leki、Mammut、Petzl、Oberalp (Salewa)、Ortovox、Scott Sports、Decathlonなど、ほぼすべてのハードグッズ業界のリーダー企業で構成されています。AAGHは、金額ベースで当社の金属サプライヤーの98%を監督しています。

AAGHの当初の焦点は、台湾の金属製品工場における社会監査の実施でした。台湾では、インドネシア、タイ、ベトナムからの移民労働者が派遣会社から高額な手数料を請求され、安全でない寮で生活しているという問題が知られていました。グループは台湾台中で3社の共通サプライヤーを特定し、Elevateと共同で社会監査を実施するための費用を分担しました。

Fair Wearもコンサルタントとして活動し、グループを代表して各工場1ブランドが責任を負う集団行動計画が策定されました。

2024年、AAGHは、2020年に最後に監査を受けた台湾の工場と、当社のヘルメットを生産している中国の工場に対して監査を委託しました。

労働者のウェルビーイング



当社の一次サプライチェーンでは、約5,500人が製品の製造に従事しており、そのうち78%が女性です。私たちは、これらの労働者の福祉を推進する責任を真剣に受け止めており、サプライヤーとベストプラクティスを特定し、共有しています。

2023年のサプライヤーサミットでは、「従業員のウェルビーイング向上」に関する小冊子を発表しました。この小冊子では、マズローの欲求階層説に基づいた当社のアプローチを概説しています。

職場環境の改善は、職場の生理学的および安全面の調査と改善から始まります。リスク分析を実施して安全上の危険を特定し、危険を軽減または排除するための解決策を実施します。ガード、バリア、個人用保護具（PPE）の設置は事故の減少につながります。床のマーキングや明確な標識は、清潔さと整理整頓を促進し、ワークフローの最適化にも役立ちます。

差し迫った危険が適切に管理されたら、次の段階は日常的な健康状態の改善です。これは長期的な健康と満足度に影響を与えます。人間工学に基づいた座席と職場環境の設計は、疲労と筋肉の緊張を軽減します。騒音の低減、良好な空気質、そして温度管理も快適性を向上させます。労働者の平均年齢が上昇するにつれて、人間工学と適切な照明の重要性は高まります。さらに、柔軟な勤務時間と育児の選択肢があれば、親は仕事を続けることができます。

次のステップは企業文化を見つめることです。明確な企業目的があれば、共通のビジョンが生まれます。上司やチームリーダーが戦略を理解することで、日々の意思決定の質が向上します。企業目的と戦略は、チームスピリットを育み、従業員のモチベーションを高め、定着率と採用率の向上につながります。

「労働者の福祉向上」冊子が好評を博したことを大変誇りに思います。バングラデシュにおける当社のサプライヤーであるカデナ社は、2024年にこの冊子を基に8枚のポスターを作成し、少なくとも5,000人の労働者に内容に関する研修を実施しました。2024年には、この冊子をベトナム語で印刷し、アラビア語、アルバニア語、ウクライナ語、ネパール語へのデジタル翻訳を開始し、22の言語で利用できるようにしました。



“トレーサビリティと透明性は、サプライチェーンのあらゆる部分で重要です。”

縫製品の国別調達状況

国レベルのサプライヤー評価

2024年には、OECDガイドラインに準拠し、サプライヤーおよび国別のリスク評価を実施しました。主要な調達国については、フェアウェア（Fair Wear）において、労働慣行規範（CoLP）に関連するリスク要因が概説されています。CoLPに関連する潜在的な危害を一つ一つ取り上げ、重大性と発生可能性に基づいて評価しました。

その後、監査結果や苦情の情報も考慮に入れ、各工場について評価を行いました。得られたスコアは、工場および国ごとに信号機評価システムを用いて提示されました。

- Green indicates low risk of occurrence
- Orange indicates medium risk of occurrence
- Red indicates high risk of occurrence

2024 年の マムートの調達国	1.自由な 雇用	2.結社 の自由	3.差別禁止	4.児童 労働禁止	5.法定賃金	6.過度な 時間外 労働は 禁止	7.工場の 健康と 安全	8.労働契 約と 社会 保障	2024 マムートの 購入額(%)	2023 マムートの 購入額(%)	2022 マムートの 購入額(%)
Vietnam	●	●	●	●	●	●	●	●	65.5%	61.1%	69.0%
Bangladesh	●	●	●	●	●	●	●	●	20.9%	18.4%	10.1%
China	●	●	●	●	●	●	●	●	5.7%	12.4%	12.1%
Türkiye	●	●	●	●	●	●	●	●	2.8%	1.2%	1.3%
Romania	●	●	●	●	●	●	●	●	1.3%	2.9%	4.0%
Indonesia	●	●	●	●	●	●	●	●	1.3%	n/a	n/a
Ethiopia	●	●	●	●	●	●	●	●	0.8%	n/a	n/a
Germany	●	●	●	●	●	●	●	●	0.5%	0.7%	0.5%
Lithuania	●	●	●	●	●	●	●	●	0.4%	1.2%	0.9%
Taiwan	●	●	●	●	●	●	●	●	0.4%	0.1%	0.5%
Latvia	●	●	●	●	●	●	●	●	0.1%	2.0%	0.7%

縫製品に関する国別レポート

Vietnam		1. Free Employment	2. Freedom of Association	3. No Discrimination	4. No Child Labor	5. Living Wage	6. No Excessive Overtime	7. Safety & Health (Factory H&S)	8. Working Contracts & Social Security
35016	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
14342	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
35694	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
7219	Footwear	●	●	●	●	●	●	●	●
5869	Footwear	●	●	●	●	●	●	●	●
34464	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
10768	Hardware	●	●	●	●	●	●	●	●
7371	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
10014	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
3268	Hardware	●	●	●	●	●	●	●	●
12320	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
11333	Hardware	●	●	●	●	●	●	●	●
3919	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
34152	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
35697	Footwear	●	●	●	●	●	●	●	●
3277	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
9415	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
10081	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
34137	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
10013	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
3287	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
13869	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
4568	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
6030	Hardware	●	●	●	●	●	●	●	●
5309	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
9354	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●
36522	Apparel	●	●	●	●	●	●	●	●

ベトナム

マムートは27年間、ベトナムから製品を調達してきました。ベトナムでは、法的拘束力のある雇用関係を証明することがしばしば困難です。ベトナムの法律では雇用契約に関する詳細な要件が定められていますが、工場がそれを遵守していないケースが多くあります。このような場合、私たちはサプライヤーに対し、現地の法律を遵守するよう求めています。

アウトドア業界では、近年ベトナムでの製造が飛躍的に拡大しています。2012年には、マムートの繊維生産の10%がベトナムで行われていました。2024年には、ベトナムでの繊維生産は65.5%となり、ベトナムはマムート最大の生産国となりました。

2024年のベトナムについては、以下の点が明らかになりました。

- ・ 2. 結社の自由 - ベトナムには法的に認められた労働組合組織が1つしかなく、労働者は自ら選択した組合を設立する権利がありません。工場経営者はしばしば組合を信用していません。
- ・ 5. 法定賃金 - ベトナムの労働法は複雑で、監査では退職金や傷病手当の未払い、または遅延といった違反が頻繁に発見されています。
- ・ 6. 過度な残業の禁止 - ベトナムではアパレルとフットウェアの生産が拡大しています。多くのブランドは、コロナ禍におけるキャッシュフローの減少により、可能な限り遅い時期に発注を行っています。これにより、季節的な繁忙期が増加し、残業時間も増加しています。
- ・ 7. 工場の健康と安全 - ベトナムの労働法では、危険性の高い職業に従事する労働者は6ヶ月ごとに健康診断を受けることが義務付けられており、縫製工場の多くの職種は危険とみなされています。監査では、これらの規制の遵守が不十分であることがしばしば発見されます。

縫製品に関する国別レポート



バングラデシュ

バングラデシュでは、すべての提携工場が国際協定による火災および建物の安全性に関する特別監査を受け、その結果に基づく是正措置計画を完了しました。マムート向け製品を生産するユニットは、フェア・ウェア・ファウンデーションによる監査も受けました。マムートは2023年に国際協定および国別安全プログラム（CSSP）に署名し、2024年には雇用傷害制度パイロット（EISパイロット）に参加しました。

2024年、バングラデシュでの生産量はマムートにとって繊維総購入量の20.9%を占め、バングラデシュはマムートにとって2番目に大きな繊維生産国となりました。シェイク・ハシナ首相は2024年8月に抗議活動によって失脚しました。暫定政府は人権状況の改善を約束しています。

2023年責任報告書において、バングラデシュ児童配慮型社会保障協定（CSSP）に署名したと誤って記載しました。この誤りは、「CSSP」の略称に関する社内の誤解が原因でした。国際協定に署名することにより、当社は国別安全プログラム（CSSP）にも同意しました。

2024年、バングラデシュについて、以下の点が明らかになりました。

- ・ 6. 過度な時間外労働禁止 - バングラデシュではアパレルとフットウェアの生産が拡大しています。多くのブランドは、コロナ後のキャッシュフローの減少により、可能な限り遅い時期に発注を行っています。これにより、季節的なピークが増加し、残業が増加しています。
- ・ 7. 工場の健康と安全 - フェアウェア財団は、国際協定に基づき、追加の火災安全および建物安全監査を義務付けています。私たちが協力しているすべての工場は監査を受けており、合意されたスケジュールに従って是正措置が実施されています。
- ・ 7. 工場の健康と安全 - 女性へのハラスメントは深刻な懸念事項であり、監査人は監督者が労働者に怒鳴り散らす行為について懸念を表明しました。これを受け、2023年に監督者向けの研修が実施されました。

縫製品に関する国別レポート



中国

2019年、国連人権理事会は、中国による新疆ウイグル自治区におけるイスラム教徒ウイグル族の大量拘束と文化的再教育を非難しました。2020年にはアメリカ合衆国が新疆ウイグル自治区からの輸入を禁止し、2021年には欧州連合とアメリカ合衆国が制裁を発動しました。また、貧困撲滅政策における少数民族の扱いについても懸念が高まっています。当社は新疆での生産を行っておらず、同地域産の綿花も使用していません。

2024年も中国は繊維製品の生産国として世界第3位を維持し、繊維購入全体の5.7%を占めました。ちなみに、10年前の2014年には、中国は繊維購入全体の54%を占めていました。

2024年の中国については、以下の点が明らかになりました。

- ・ 2. 結社の自由 – 労働組合は独立していません。
- ・ 5. 法定賃金 – 多くの工場では出来高払い制を採用しています。つまり、賃金は労働時間ではなく、生産された作業数に基づいて算出されます。そのため、賃金が正しく支払われず、不履行が頻繁に発生します。
- ・ 5. 法定賃金 – 出稼ぎ労働者は、社会保障給付金を母国に送金できない場合もあります。解決策は講じられていますが、多くの労働者は社会保障給付金の受給を拒否しています。
- ・ 6. 過度な労働時間 – 残業は多くの中国のアパレル工場で蔓延しており、頻繁に発生する問題です。しかし、2024年には受注が減少したため、中国での残業時間は減少しました。

縫製品に関する国別レポート



トルコ TÜRKIYE (旧称 : Turkey)

マムートはトルコにある2つのサプライヤーから衣料品を調達しています。シリアに近いことから、トルコには数百万人のシリア難民が居住しており、特に下請け業者における彼らの雇用について懸念があります。さらに、労働組合と工場経営者の間にはしばしば敵対関係が存在します。

2024年には、繊維生産の2.8%がトルコで行われました。

2024年、トルコについて以下の点を明らかにしました。

2. 結社の自由：労働組合と経営陣の関係は多くの場合、良好とは言えません。一部の工場長は組合活動を妨害しようとしています。

ルーマニア

マムートは、ルーマニアの2つのサプライヤーから靴を調達しています。ルーマニアは、フェアウェア財団によって低リスク国とみなされています。工場は小規模で、従業員の高齢化が進んでいます。

2024年、当社の繊維生産の1.3%がルーマニアで行われました。

2024年については追加コメントはありません。

縫製品に関する国別レポート



インドネシア

マムートは2024年にインドネシアのサプライヤー4社と共同で生産を開始しました。

2024年には、これはマムートの繊維生産量の1.3%に相当します。

2024年については追加コメントはありません。

エチオピア

2024年、マムートはベトナムにも3つの工場を持つ長年のパートナーが所有する工場にエチオピアでの生産を開始しました。2024年時点で、これはマムートの繊維生産量の0.8%に相当します。生産発注に先立ち、2023年に工場は監査を受けました。フェアウェアが開発したフレームワークに基づき、シェーフェル社およびドイツ国際協力公社（GIZ）と共同で労働者教育プログラムを開始しました。

2024年については追加コメントはありません。

縫製品に関する国別レポート



ドイツ

マムートは、フェアウェア財団によって低リスク国と評価されているドイツにニットウェアのサプライヤーを1社保有しています。2024年には、当社の繊維生産の0.5%がドイツで行われました。

2024年については追加コメントはありません。

リトアニア

マムートは、フェアウェア財団によって低リスク国と評価されているリトアニアに、長期的なアパレルサプライヤーを1社保有しています。2024年には、当社の繊維生産の0.4%がリトアニアで行われました。

2024年については追加コメントはありません。

縫製品に関する国別レポート



台湾

マムートは台湾に縫製品サプライヤー1社とハードグッズサプライヤー5社を有しています。2024年には、当社の繊維生産量の0.4%が台湾で行われました。

2024年の台湾について、以下の点が明らかになりました。

- 2. 自由雇用 - 台湾企業はタイ、ベトナム、インドネシアからの外国人移民労働者を雇用することが多く、彼らは派遣会社に高額な手数料を支払わなければなりません。
- 7. 工場の健康と安全 - 台湾では、移民労働者が防火・建築安全基準を満たさない施設に収容されているケースが多いことが問題となっています。

ラトビア

マムートは、フェアウェア財団によって低リスク国と評価されているラトビアにSpectre工場を1つ所有しています。この工場は、職場における社会的に責任ある慣行の確立・維持・実践を促進するSA8000認証基準に基づいて監査されています。

2024年、当社の繊維生産の0.1%がラトビアで行われました。Spectre社との生産の大部分は、同社のベトナム工場に移管されました。

2024年については追加コメントはありません。

03

参考資料 玩



重要性の評価

→ 重要性評価の戦略については、「影響とアプローチ」で詳細をご覧ください。

トピック	マムートにとっての優先順位	ステークホルダーにとっての重要性	施策と方策	持続可能な開発目標への貢献
アニマルウェルフェア	5	7	Four Paws Five Freedoms, Fur Free Retailer, RDS, RWS, terracare® leather, Leather Working Group	 
生物多様性	5	5	オーガニックコットン、EOCA会員、RDS、RWS	 
化学物質管理	7	5	Chemical management & testing, bluesign® SYSTEM PARTNER, PFAS phase-out strategy	
循環性	9	7	マムートループインサレーション、製品のお手入れ方法、修理工房、余剰素材の活用	
気候	9	8	ネットゼロ戦略、企業の年間カーボンフットプリント、SBTi、UNFCCC、CDP	
地域社会との関わり	7	5	ClimbAID、POW、アメリカ山岳ガイド協会 (AMGA) : 女性奨学金、アメリカ雪崩研究教育研究所 (AIARE) : プロフェッショナル成長ネットワーク、Paradox Sports : パラドックスマイル、SheJumps : スノーパック奨学金、Inclusive Outdoors、Adaptive Climbers Fest、スイス赤十字	 
エネルギー使用	7	4	スイスとドイツの施設における再生可能電力、ドイツにおける太陽光パネルの設置、スイスとドイツのオフィスにおける電気自動車充電ステーション、電源マッピング、EOG炭素削減プロジェクト、サプライヤー評価のための気候目標	

トピック	マムートに とっての優 先順位	ステークホル ダーにとつ ての重要性	施策と方策	持続可能な開発目標への貢献
従業員の育成	6	4	人材育成プログラム、グローバル交流プログラム、専門家によるスポンサーシップ、リーダーシップ育成イニシアチブ、独自のキャリア構築イニシアチブ	
ジェンダー平等、ダイバーシティ&インクルージョン	5	8	男女平等、人材育成プログラム、アメリカ山岳ガイド協会 (AMGA) 女性奨学金、アメリカ雪崩研究教育研究所 (AIARE)、パラドックススポーツ、シージャンプ、インクルーシブアウトドア、アダプティブクライマーズフェスト、スイス赤十字	 
サプライチェーンにおける人権	8	6	フェアウェア財団、Higg FSLM、繊維・衣料産業における国際安全衛生協定、雇用傷害補償制度パイロット (EISパイロット)、労働者の福祉向上に関する冊子、サプライヤー戦略	 
業界連携	8	4	bluesign®、Cascale、雇用傷害制度パイロット (EISパイロット)、EOCA、EOG、FWF、国際協定、STS 2030、スイスクリーンテック、TMC、UNFCCC、大学との連携	
物流と包装	6	8	包装の簡素化、ハングタグのサイズ縮小、EOG使い捨てプラステックプロジェクト	
製品の品質と耐久性	9	8	品質管理、製品の取扱説明書、修理工房、レンタルサービス	
責任ある素材	8	6	WE CAREターゲット、リサイクルポリエステル、リサイクルポリアミド、オーガニックコットン、溶液染色、RDS、RWS、terracare® leather、Leather Working Group、マムートループインサレーション	
透明性	8	6	責任レポート、ターゲットレポート、ブランドパフォーマンスチェック、責任ある企業行動方針、CDP、ファッション革命の「What Fuels Fashion?」、Wordly Higg Index、Good On You	
廃棄物	4	4	マムートループインサレーション、修理工房、マイクロファイバーコンソシアム、余剰素材の活用	
水の使用	4	4	bluesign®、オーガニックコットン、溶液染色	

補足情報

このレポートについて > 免責事項

この責任報告書は、当社の知る限りにおいて、可能な限り透明性のある方法で自主的に発行されました。本報告書内のすべての数値および計算は、発行日時時点で入手可能な最良の方法論とデータに基づいています。また、この責任報告書には、マムート・スポーツ・グループAGに影響を及ぼす将来の展開に関する当社の見解と期待に基づく将来志向の記述が含まれており、そのため、いくつかのリスクと不確実性が含まれています。これらの記述は、マムート・スポーツ・グループAGに影響を及ぼす予想される展開およびその他の要因に関する現在の期待と仮定に基づいており、将来予想に関する記述で明示または暗示されているものとは大きく異なる可能性があります。

あります。これらの記述は歴史的事実ではなく、将来の業績または結果を保証するものでもありませんのでご注意ください。マムート・スポーツ・グループAGは、法律で義務付けられている場合を除き、新たな情報、将来の出来事、その他の結果にかかわらず、将来予想に関する記述を公に更新または修正する義務を負いません。

WE CARE > Who we are > WE CARE

特に明記されていない場合、このレポートのWE CARE 主要業績評価指標は2024年夏コレクションを対象としています。

WE CARE > Who we are > コミュニティへの積極的な参加

寄付：

ClimbAID：

Protect Our Winters CH：

アメリカ雪崩研究教育協会（AIARE）：

アメリカ山岳ガイド協会（AMGA）：女性デー奨学金：

Paradox Sports：

SheJumps：

Inclusive Outdoors：

Adaptive Climbers Fest：

スイス赤十字への支援：

30,000スイスフラン以上および現物寄付（年間寄付）
25,000スイスフラン（年間寄付）+ 11,000スイスフラン
10,000米ドル
2,500米ドル
5,280米ドル相当の現物寄付
8,400米ドル相当の現物寄付
2,000米ドルおよび8,000米ドル相当の現物寄付
3,000米ドルおよびロープ15本の現物寄付
冬物衣料の現物寄付

WE CARE > 環境負荷の低減
> カーボンフットプリント

カテゴリー/サブカテゴリー	2024	2023	2022
直接的な排出量(Scope 1)	563	522	509
間接的な排出量(Scope 2)	422	503	331
Scope 3.1 - 購入した商品とサービス	34,353	32,690	40,495
Scope 3.3 - 燃料およびエネルギー関連活動	227	248	333
Scope 3.4 - 上流輸送	2,182	2,030	3,006
Scope 3.5 - 事業活動で発生する廃棄物	22	32	194
Scope 3.6 - 出張	1,511	1,054	585
Scope 3.7 - 従業員の通勤	1,185	842	833
Scope 3.9 - 下流輸送	897	681	799
Scope 3.11 - 販売した製品の使用	3,409	3,307	4,460
Scope 3.12 - 販売した製品の廃棄	2,041	2,054	1,692
間接的な排出量(Scope 3)	45,828	42,937	52,396
総カーボンフットプリント	46,813	43,962	53,236

WE CARE > エシカルな生産
> フェアウェア財団

フェアウェア財団ブランドパフォーマンスチェック2024（2023年を対象）

ベンチマークスコア： 65
パフォーマンスベンチマークカテゴリー： GOOD

WE CARE > エシカルな生産
> デューデリジェンスアプローチ

スイス債務法第964j条から第964i条に基づく開示

マムート・スポーツ・グループAGは、紛争地域産の鉱物・金属及び児童労働に関するデューデリジェンス及び透明性に関する条例（DDTrO）第9条に基づき、デューデリジェンス及び報告義務を免除されています。
この免除は、フェアウェア・ファウンダーションの支援を受け、ILO条約第138号（最低年齢）およびILO条約第182号（最悪の形態の児童労働）を含む、国際的に認められた基準を遵守しているに基づいています。当社は、国連ビジネスと人権に関する指導原則、ILO-ILOE児童労働ガイダンスツール（企業向け）、そしてOECD責任ある企業行動のためのデューデリジェンスガイダンスに準拠しています。

用語集

amfori BSCI	amfori Business Social Compliance Initiative ビジネス ソーシャル コンプライアンス イニシアチブ	DWR	Durable water repellent 耐久撥水
BPC	Brand Performance Check ブランドパフォーマンスチェック	EIS Pilot	Employment Injury Scheme Pilot 雇用傷害補償制度パイロット
BRM	Higg Brand and Retail Module Higgブランド&リテールモジュールブルーサイン・システム構成物質リスト	EOCA	European Outdoor Conservation Association ヨーロピアン・アウトドア・コンサベーション・アソシエーション
BSSL	bluesign® SYSTEM SUBSTANCES LIST bluesign®ブルーサイン・システム構成物質リスト	EOG	European Outdoor Group ヨーロピアン・アウトドア・グループ
BSBL	bluesign® SYSTEM BLACK LIMITS bluesign®システム ブラックリミット	EOG AAHG	European Outdoor Group Audit Alliance for Hard Goods ヨーロピアン・アウトドア・グループ・オーディット・アライアンス・フォー・ハード・グッズ
CAP	Corrective Action Plan 是正措置計画	EPS	Expanded polystyrene 発泡スチロール
CDP	Carbon Disclosure Program カーボンドィスクロージャープログラム	ERP	Enterprise resource planning エンタープライズリソースプランニング
CDR	Carbon dioxide removal 二酸化炭素除去	FEM	Higg Facility Environmental Module ヒッグファシリティ環境モジュール
CEO	Chief executive officer 最高経営責任者	FSLM	Higg Facility Social and Labour Module ヒッグファシリティ社会・労働モジュール
CoLP	Code of Labour Practices by Fair Wear Foundation 労働慣行規範	FWF	Fair Wear Foundation フェアウェア財団
CO₂-eq	CO ₂ equivalent is a unit based on the global warming potential of different greenhouse gases CO ₂ 換算とは、さまざまな温室効果ガスの地球温暖化係数(GWP)に基づく単位です	GHG Protocol	Greenhouse Gas Protocol 温室効果ガス議定書
CPO	Chief product officer 最高製品責任者	GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit ドイツ国際協力公社
CRP	Carbon Reduction Project EOGによる炭素削減プロジェクト	GWP	Global warming potential 地球温暖化係数
CSCO	Chief supply chain officer サプライチェーン最高責任者	ILO	International Labour Organisation 国際労働機関
CSSP	Country-Specific Safety Program 国別安全プログラム	IPCC	Intergovernmental Panel on Climate Change 気候変動に関する政府間パネル
CSRD	Corporate Sustainability Reporting Directive 企業の持続可能性に関する報告指令	ISPO	Internationale Fachmesse für Sportartikel und Sportmode スポーツ用品・スポーション国際見本市
DAC	Direct air capture 直接空気回収		

JBP	Joint business plan 共同事業計画	PPE	Personal protective equipment 個人用保護具
KPI	Key performance indicators 主要業績評価指標	RDS	Responsible Down Standard 責任あるダウン基準
LCA	Life Cycle Assessment ライフサイクルアセスメント	rPET	Recycled polyester リサイクルポリエステル
LWG	Leather Working Group レザーワーキンググループ	RSC	Ready-Made Garment Sustainability Council 既製衣料サステナビリティ協議会
MRS�	Manufacturing Restricted Substance List 製造制限物質リスト	RSL	Restricted Substances List 制限物質リスト
MSI	Higg Materials Sustainability Index Higg材料持続可能性指数	RWS	Responsible Wool Standard 責任あるウール基準
OECD	Organisation for Economic Co-operation and Development 経済協力開発機構	SAC	Sustainable Apparel Coalition, now known as Cascale サステナブル・アパレル連合(現在はカスケールとして知られている)
OHS	Occupational health and safety 労働安全衛	SAC	Schweizer Alpen-Club シュヴァイツァーアルペンクラブ
OSCA	Online Supply Chain Accelerator オンラインサプライチェーンアクセラレータ	SAI SA8000	Social Accountability International SA8000 Standard 社会的説明責任国際規格SA8000
PEF	Product Environmental Footprint 製品の環境負荷	SBTi	Science Based Target initiative 科学的根拠に基づいた目標イニシアチブ
PEFCR	Product Environmental Footprint Category Rules 製品環境フットプリント分類基準	SLCP	Social & Labor Convergence Program 社会・労働融合プログラム
PET	Polyethylene terephthalate ポリエチレンテレフタレート	SMETA	Sedex Members Ethical Trade Audit Sedex会員倫理取引監査
PFC	Perfluorinated compounds ペルフルオロ化合物	STS 2030	Sustainable Textiles Switzerland 2030 持続可能な繊維スイス2030
PFC-free	Items made without perfluorinated compounds フッ素化合物を使用せずに作られた製品	tkm	Ton-kilometer is a unit of measurement that represents the transport of one metric ton of goods over the distance of one kilometer トンキロメートルは、1メートルトンの貨物を1キロメートルの距離に輸送することを表す測定単位です。
PM	Higg Product Module Higg製品モジュール	tkm	The Microfibre Consortium マイクロファイバーコンソーシアム
POW	Protect Our Winters 私たちの冬を守ろう	UNFCCC	The United Nations Framework Convention on Climate Change 国連気候変動枠組条約

レポート制作チーム

プロジェクト マネジメント: Sara Liz Marty
コピーライティング: Alex L. Phillips
レイアウトおよびグラフィック: Denise Drews

出版: 2025年6月

このレポートについてのお問い合わせ: responsibility@mammut.com

Mammut Sports Group AG

Birren 5
5703 Seon
Switzerland

mammut.com